

# コロナ禍に立ち向かう草津市社協の魅力活動

～明日の未来をつくる 応援で紡ぐ絆づくり～



令和2年3月19日～令和3年3月31日

社会福祉法人草津市社会福祉協議会

## はじめに

世界に暗い影を落としている新型コロナウイルスの感染拡大防止で、外出やイベント会合の自粛、それに伴う休業・廃業等、草津市社会福祉協議会が大切にしてきた人の「つながり」が、否応無しに切り離されていく毎日の中で、福祉・医療関係等は奮闘し、時には心が折れてしまいそうにもなりながらも頑張っているところであります。

また市内では、年度当初から地域サロンをはじめ多くの地域の福祉活動や市社協事業の一部が、新型コロナウイルス感染症の拡大予防の観点から開催中止をせざるを得なくなり、支え合い、助け合い、生きがいつくりの地域福祉活動が停止することとなっております。

このような状況下ではありますが、私たちは、地域福祉活動の一日も早い再開を願いつつ、更なる地域の福祉活動を進めるべく、いろいろと準備を進めています。

しかし、感染予防を行い「命を守る」取り組みを進めることと併せて、「生活を守る」ことが重要になり、「生活を守る」とは、衣食住が確保されることと社会的なつながり(ボランティア活動・地域福祉活動・地域の役割等)を保つこと等ですが、コロナウイルス感染を防ぐことをきっかけにこれらが絶たれ、本来の暮らしが立ち行かなくなってしまうと、社会的孤立の状態に陥り“感染死”ではなく“関連死”に至ることも問題視されてきております。草津市社会福祉協議会では、**コロナ禍に立ち向かう草津市社協の魅力活動**を実施しつつ、市域でできる活動と3密を防ぎながら「つながり」を切らない地域の実情に応じた地域福祉活動を推進していくための応援・支援を進めてまいります。

### 新型コロナウイルス感染症関連業務報告

#### 1.緊急小口等特例貸付業務～暮らしを取り戻す～

1)コロナ感染症による経済的影響世帯総合分析

①第一弾 3月25日～5月31日貸付分 ②第二弾 6月1日～7月31日貸付分③第三弾 8月1日～9月30日貸付分 ④第四弾 10月1日～12月31日貸付分

#### 2.フードバンク事業～品物の配分だけでなく 心を伝える応援活動～

1)市立学校給食センターからの食材を市内福祉施設等へ応援

2)企業から頂いたお菓子520個を子どもたちのために応援

3)日本農産(株)から玉ねぎ約3,000個を地域福祉活動者等へ応援

4)日本農産(株)から玉ねぎ約6,000個を地域福祉活動者等へ応援

5)市立学校給食センターからの食材を市内福祉施設等へ応援

#### 3.「素敵なおまごころ便」～ありがとうからありがとうへ～

1)第一弾 高齢者地域サロン参加者「素敵なおまごころ便」1,883人を応援

2)第二弾 地域福祉活動応援「まごころ便」市内158団体を応援

3)第三弾 福祉関係施設応援「まごころ便」市内74施設・事業所を応援

4)第四弾 学区社協活動応援「まごころ便」市内14学区・区社会福祉協議会を応援

5)第五弾 コロナに負けない「炊き込みご飯でまごころ便」155地域サロンを応援

6)第六弾 福祉関係施設等応援「まごころ便」市内53施設・事業所を応援

7)第七弾 ひとり親世帯で15歳以下の子どもがいる世帯9世帯44人を応援

#### 4.学区社協活動を応援～歴史を止めさせない私たちの思い～

1)「自分のためにみんなのためにそして大切な人のために私たち一人ひとりができること新聞」発刊

2)この時期だからできる新しい地域福祉活動15例提案(学区社協会長会へ提案)

3)草津市の企業(賛助会員480社)応援事業

4)生活支援体制整備事業専門職アンケート実施

#### 5. その他の応援

1)地域サロン交流会～マスクケース作り～

2)With コロナで豊かな暮らしを提案「ふくちゃんマスクプロジェクト」始動

3)草津市福祉教養大学大学院実践～第9回ボランティアフェスティバル～

#### 6. 令和2年度 見える・魅せる市社協活動新聞掲載記事

# 1. 緊急小口等特例貸付業務 ～暮らしを取り戻す～

令和2年3月19日緊急特例貸付について、市くらしサポートセンターと協議

3月25日貸付申請受付開始、当面7月末まで決定

4月13日当初面談方式で相談対応するが電話対応で郵送方式に切り替える

4月27日派遣職員1名、5月11日から1名を雇用、当面7月末まで

4月30日近畿労働金庫、5月28日から県内郵便局でも緊急小口貸付申請受付開始

6月15日緊急小口資金特例貸付の受付期間の延長、9月末まで決定

6月20日派遣職員2名、当面9月末まで延長

7月14日総合支援資金特例貸付における3カ月を超える延長貸付を決定

7月16日総合支援資金特例貸付における3カ月を超える貸付について市くらしサポートセンターと協議

9月16日特例貸付受付期間の延長、12月末日まで決定

12月17日特例貸付受付期間の延長、令和3年3月末日まで決定

令和3年2月2日特例貸付受付期間の再延長決定

特例貸付とは、新型コロナウイルスの影響により、生計維持が困難となった世帯に貸付を行います。

○特例小口資金 上限20万円以内(一人世帯は、上限15万円以内)

据え置き期間1年以内 償還2年以内 無利子

○特例総合資金 上限月20万円(一人世帯は、上限15万円以内)×3か月

据え置き期間1年以内 償還10年以内 無利子

○総合資金延長 上限月20万円(一人世帯は、上限15万円以内)×3か月

据え置き期間1年以内 償還10年以内 無利子

○総合資金再貸付 上限月20万円(一人世帯は、上限15万円以内)×3か月

据え置き期間1年以内 償還10年以内 無利子

※延長関係の場合、自立相談支援機関(草津市役所人とくらしのサポートセンター)へ相談

令和2年度 生活福祉資金 コロナ特例緊急小口資金・総合支援資金

草津市の貸付の現状

令和3年3月31日現在

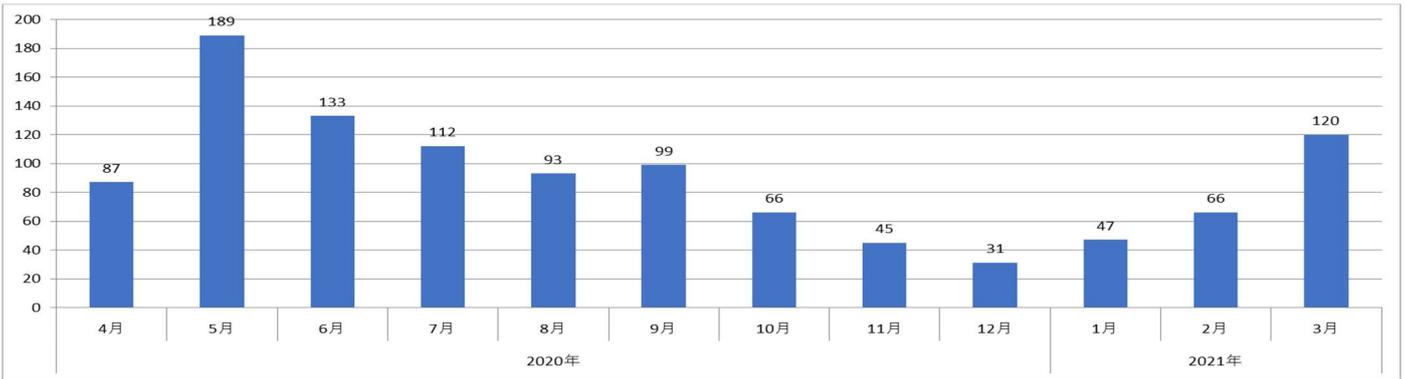
資金種別	件数	貸付金額	貸付根拠
緊急小口資金	1087	209,690,000	上限20万円以内(一人世帯は上限15万円以内)
総合支援資金	871	438,790,000	上限20万円(一人世帯は上限15万円以内)×3カ月
増額	5	1,000,000	当初上限までいかなかった世帯の追加
延長	431	221,840,000	上限20万円(一人世帯は上限15万円以内)×3カ月
延長増額	1	200,000	延長上限までいかなかった世帯の追加
再貸付	358	185,730,000	上限20万円(一人世帯は上限15万円以内)×3カ月
受付合計数	2753	1,057,250,000	

※次頁は、草津市内でコロナの影響により経済的影響を受けた世帯を令和2年3～5月、6～7月、8～9月、10～12月、令和3年1月～3月に分けて分析。

そのことにより、段階的に変わってくるコロナ感染症拡大関係で影響した世帯の分析をします。

# 1)令和 2 年度コロナ感染症による経済的影響世帯総合分析

## <緊急小口資金貸付月日別件数>

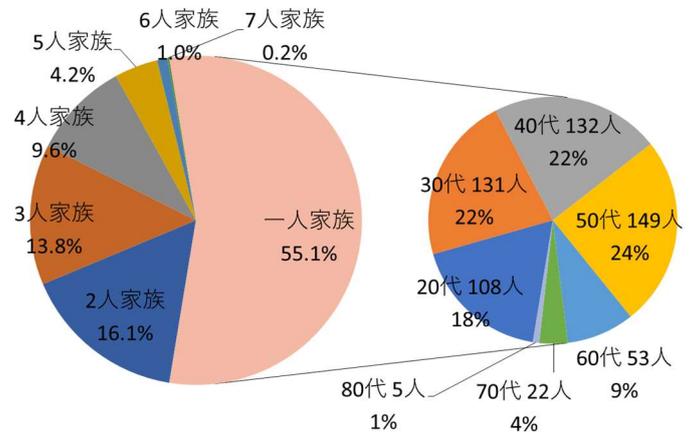


## ○貸付者学区・年齢別貸付件数

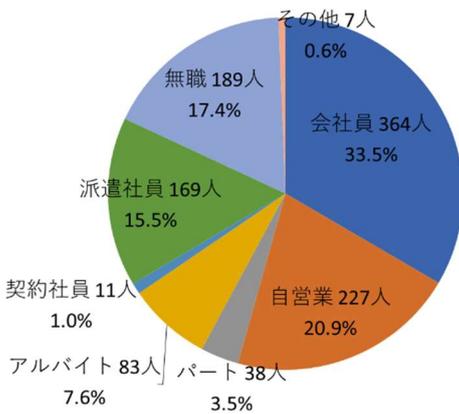
	件数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	167	23	41	50	37	11	3	2
志津南	22	1	4	8	6	1	1	1
草津	137	23	34	28	25	18	8	1
大路	73	8	9	18	31	6	1	0
渋川	52	10	12	10	13	4	3	0
矢倉	58	7	17	13	14	5	2	0
老上	28	5	5	8	6	2	1	1
老上西	91	10	19	27	20	12	2	1
玉川	102	27	18	33	18	3	3	0
南笠東	82	15	22	22	17	6	0	0
山田	89	12	17	21	20	11	6	2
笠縫	67	11	15	19	14	6	2	0
笠縫東	95	17	21	18	24	8	6	1
常盤	25	3	3	6	6	7	0	0
合計	1088	172	237	281	251	100	38	9

※県社協の貸付決定数は1,087件

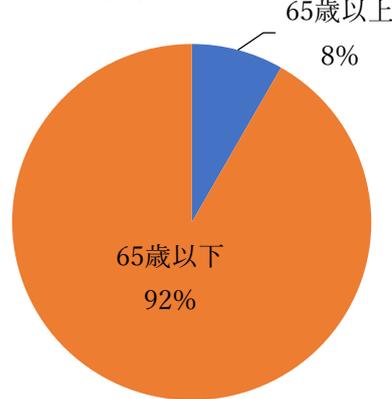
## ○家族数



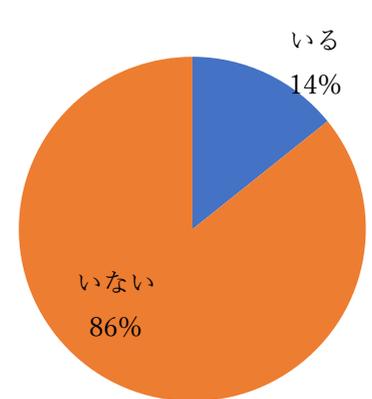
## ○職種



## ○65歳以上世帯



## ○小学生以下がいる世帯



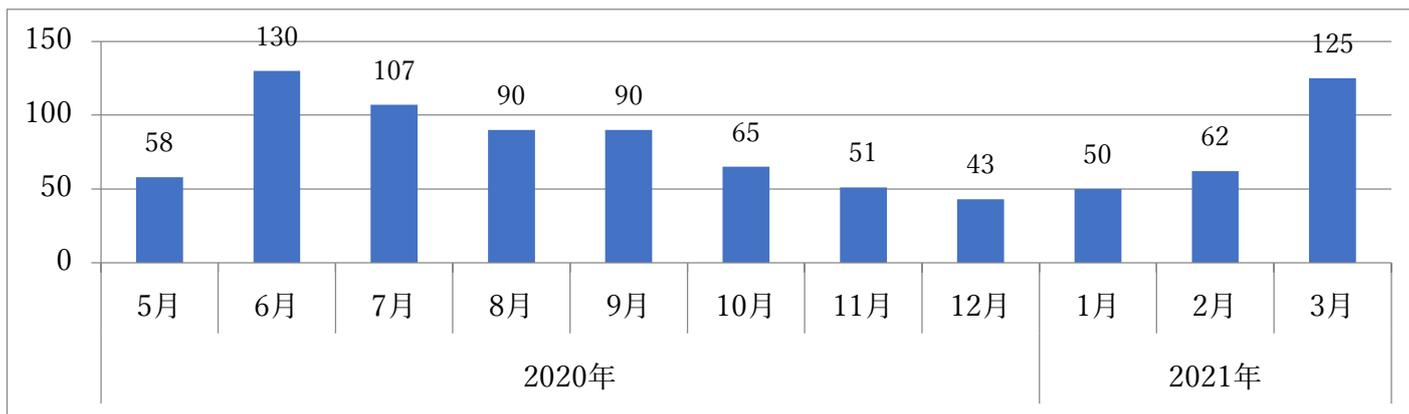
## 緊急小口資金貸付最終分析

- 第一回緊急事態宣言が4・5月に発令され、その影響により、5・6・7月の貸付件数が多かったと考えられる。
- 学区別の貸付件数では、志津・草津・玉川学区が多い。これは、今回のコロナによる経済的影響が20・30・40・50歳代(60・70・80代以上の方は、ほとんど影響していない。全体の8%未満)に影響していると考えられる。
- 職種では、会社員・自営業・無職が71.8%を占めている。
- 小学生以下がいる世帯は、14%と予想に反して少ない。単身世帯が55.1%を占めている。

## <時系列分析>

前半期は、会社員が多く、後半期は、無職が増え、単身者から複数家族へ移行した。

<総合支援資金貸付月日別件数>

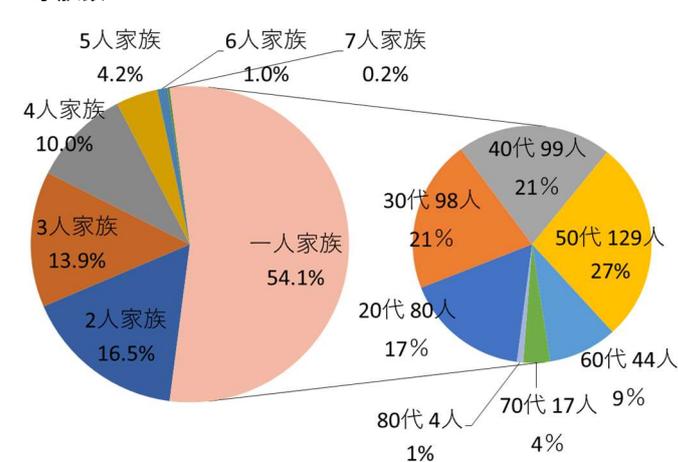


○貸付者学区・年齢別貸付件数

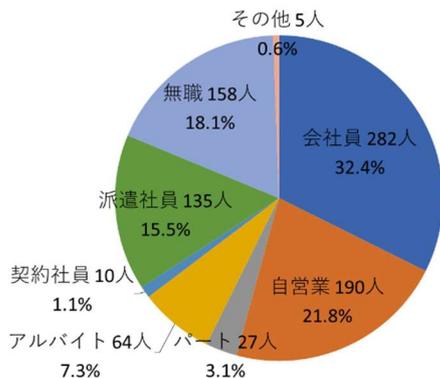
	件数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	137	19	33	39	32	10	3	1
志津南	20	0	3	8	6	1	1	1
草津	101	16	23	21	20	14	6	1
大路	55	6	8	14	23	3	1	0
渋川	46	9	11	9	12	3	2	0
矢倉	54	6	13	13	12	8	2	0
老上	22	3	3	6	6	2	1	1
老上西	74	9	14	20	19	9	2	1
玉川	75	20	14	21	17	2	1	0
南笠東	64	8	18	16	15	6	1	0
山田	76	6	16	17	20	10	5	2
笠縫	55	8	13	15	13	5	1	0
笠縫東	73	18	13	13	18	6	4	1
常盤	19	2	3	5	5	4	0	0
合計	871	130	185	217	218	83	30	8

※県社協の貸付決定数は871件

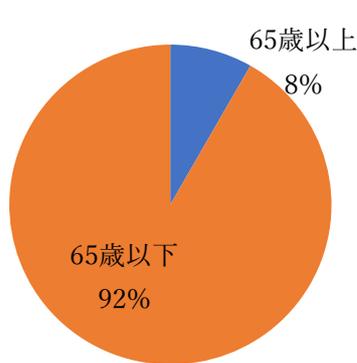
○家族数



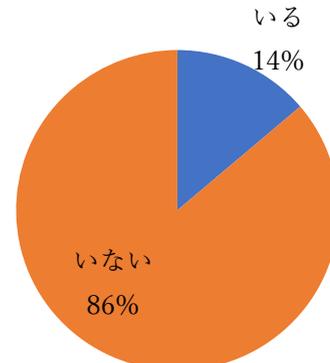
○職種



○65歳以上世帯



○小学生以下がいる世帯



総合支援資金貸付最終分析

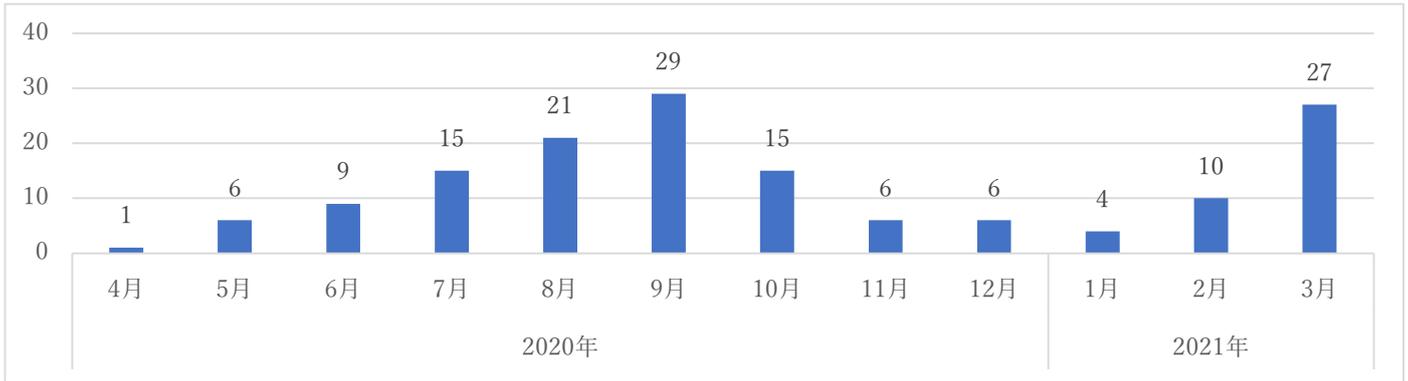
- 特例小口資金貸付を先に貸付を受けてから総合支援資金の貸付することをルールとした結果、小口資金貸付より一カ月遅れで6・7・8・9月の貸付件数が増えた。
- 学区別の貸付件数では、志津・草津・玉川学区が多い。これは、小口資金を使用した世帯が随時連動して総合支援資金も貸付に来られたことが見える。そのため小口資金と同様に20・30・40・50歳代(60・70・80代以上の方は、ほとんど影響していない。全体の8%未満)が多い。
- 職種でも、会社員・自営業・無職が多くを占めている。
- 小学生以下がいる世帯は、14%と予想に反して少ない。単身世帯が54.1%を占めている。

<時系列分析>

前半期は、会社員が多く、後半期は、無職が増え、単身者から複数家族へ移行した。

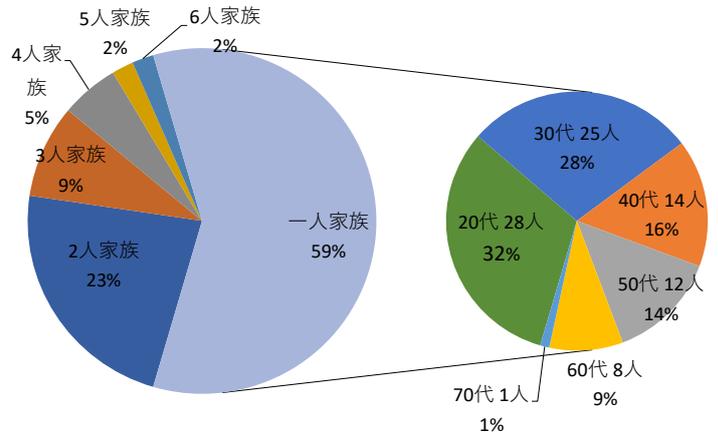
# 草津市居住外国籍貸付総合分析

## <緊急小口資金貸付月日別件数>

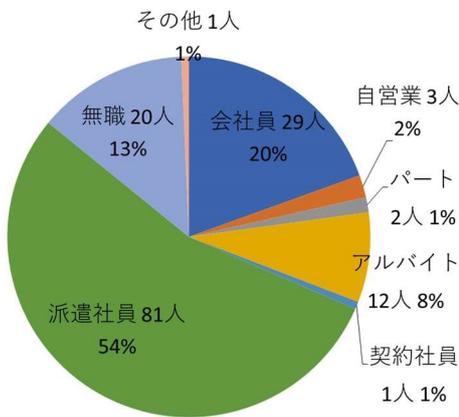


○貸付者学区・年齢別貸付件数		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	23	5	7	7	1	3	0	0
志津南	2	0	1	1	0	0	0	0
草津	23	6	9	5	2	1	0	0
大路	13	3	1	3	5	1	0	0
渋川	9	3	1	2	2	1	0	0
矢倉	11	4	2	1	3	1	0	0
老上	4	1	2	1	0	0	0	0
老上西	8	0	5	0	2	1	0	0
玉川	17	10	3	1	3	0	0	0
南笠東	4	1	1	2	0	0	0	0
山田	5	1	2	1	1	0	0	0
笠縫	9	1	2	4	0	2	0	0
笠縫東	21	6	6	4	3	1	1	0
常盤	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	149	41	42	32	22	11	1	0

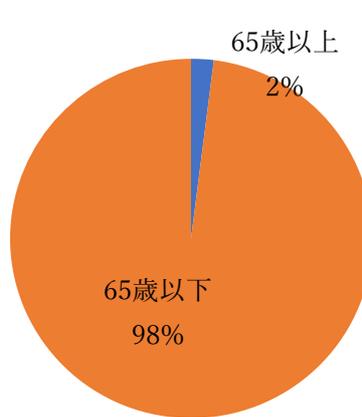
### ○家族数



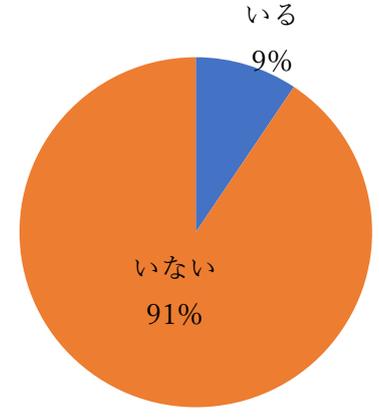
### ○職種



### ○65歳以上世帯



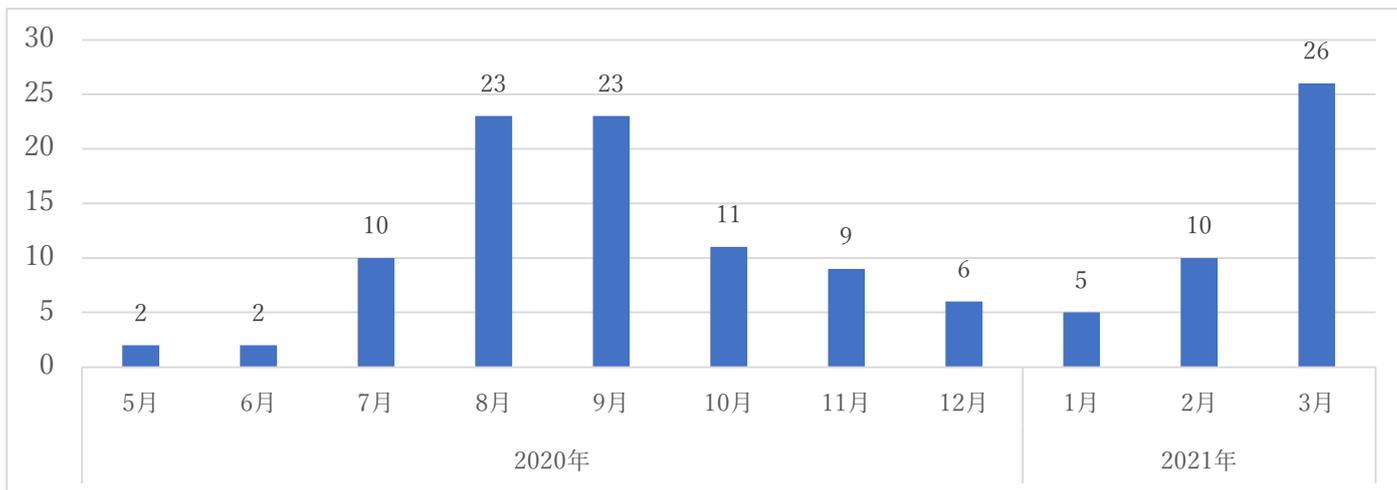
### ○小学生以下がいる世帯



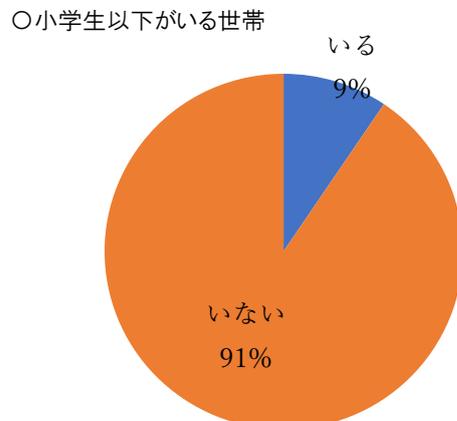
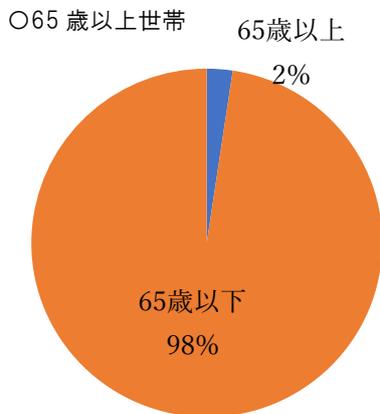
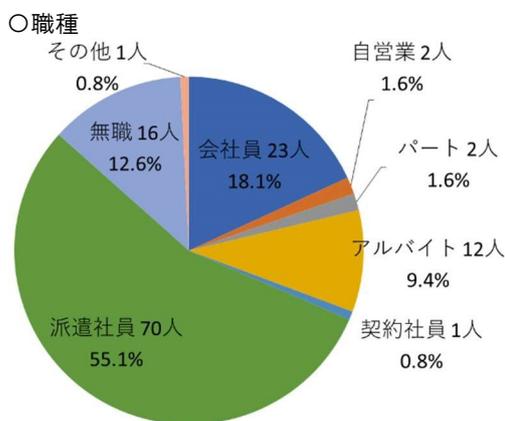
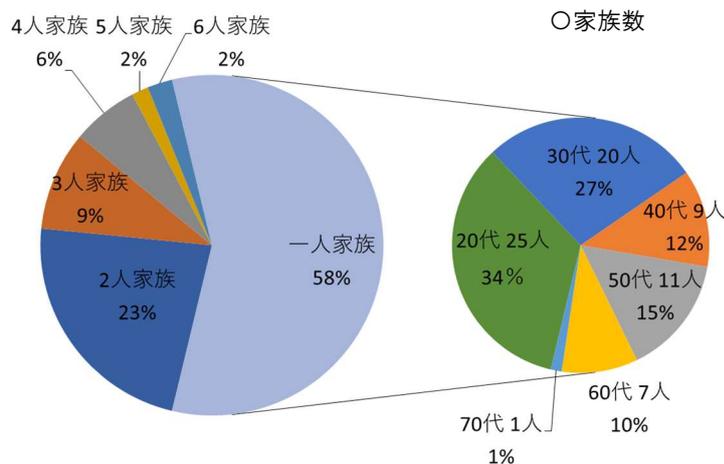
## <緊急小口資金貸付総括>149件

- 外国籍の方は、日本人世帯より貸付の情報伝達に時間がかかり 7・8・9・10 月が多く、数カ月のタイムラグが生じている。また、支援者との連絡調整等もあり、来所ピーク時期がずれる。
- 学区別の貸付件数では、笠縫東・志津・草津が多い。日本人世帯と比較すると笠縫東学区が多いことがわかる。また、世代は、今回のコロナによる経済的影響が 20・30・40・50歳代(60・70・80代以上の方は、ほとんど影響していない。全体の2%未満)に影響していると考えられる。これは、日本人世帯と変わらない。
- 職種では、派遣社員・会社員・無職 87%を占めている。日本人世帯と比べ、自営業が極端に少ない。
- 小学生以下がいる世帯は、9%と予想に反して少ない。単身世帯が 59%を占めており、単身で日本に来られている世帯に影響があったと考える。

<総合支援資金貸付月日別件数>



貸付者学区・年齢別貸付件数	件数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	18	3	5	6	1	3	0	0
志津南	2	0	1	1	0	0	0	0
草津	17	5	7	4	0	1	0	0
大路	9	2	1	2	4	0	0	0
渋川	9	3	1	2	2	1	0	0
矢倉	9	3	2	0	3	1	0	0
老上	4	1	2	1	0	0	0	0
老上西	9	0	5	0	3	1	0	0
玉川	17	10	3	1	3	0	0	0
南笠東	4	1	1	2	0	0	0	0
山田	3	0	2	0	1	0	0	0
笠縫	6	0	2	2	0	2	0	0
笠縫東	20	7	4	3	4	1	1	0
常盤	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	127	35	36	24	21	10	1	0



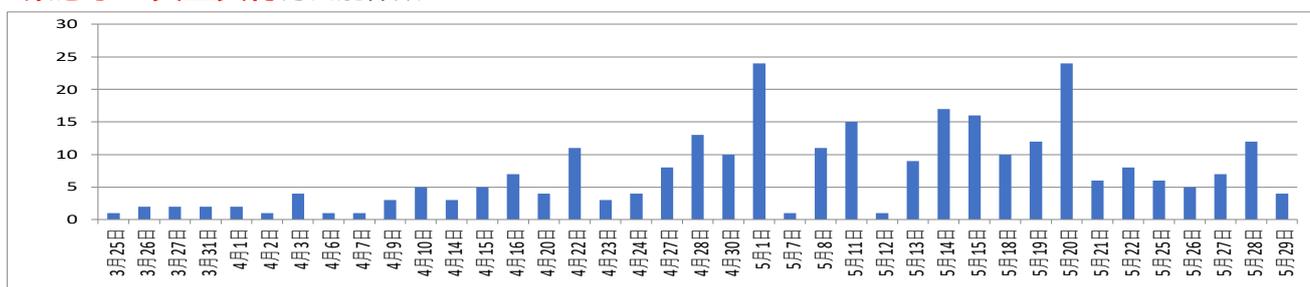
<総合支援資金貸付総括>127件

- 外国籍の方は、日本人世帯より貸付の情報伝達に時間がかかり 7・8・9・10 月が多く、数カ月のタイムラグが生じている。また、支援者との連絡調整等もあり、来所ピーク時期がずれる。また、小口資金と同時貸付が多い。
- 学区別の貸付件数では、笠縫東・志津・草津・玉川学区が多い。日本人世帯と比較すると笠縫東学区が多いことがわかる。また、世代は、今回のコロナによる経済的影響が 20・30・40・50歳代(60・70・80代以上の方は、ほとんど影響していない。全体の 2%未満)に影響していると考えられる。これは、日本人世帯と変わらない。
- 職種では、派遣社員・会社員・無職が占めており、日本人世帯と比べ、自営業が極端に少ない。
- 小学生以下がいる世帯は、9%と予想に反して少ない。単身世帯が 59%を占めており、単身で日本に来られている世帯に影響があったと考える。

# 月別分析

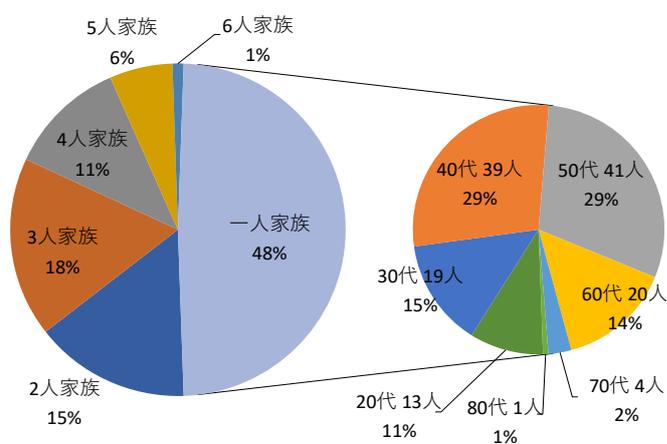
## ①第一弾 3月25日～5月31日まで(緊急小口資金280件・総合支援資金58件貸付分)

<緊急小口資金貸付月日別件数>

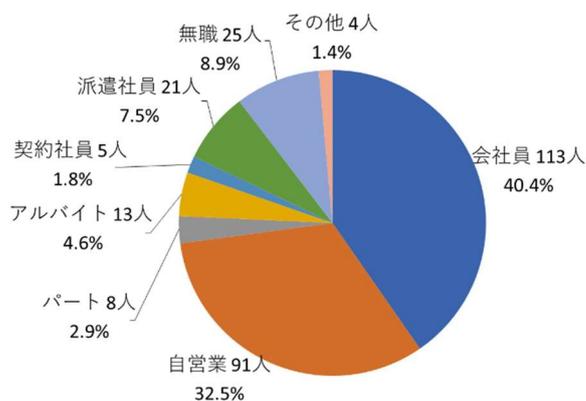


学区	件数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	41	3	9	14	9	6	0	0
志津南	8	0	2	3	3	0	0	0
草津	38	4	8	7	9	7	3	0
大路	15	0	1	9	5	0	0	0
渋川	13	0	3	2	3	3	2	0
矢倉	17	1	2	5	4	5	0	0
老上	7	0	1	3	1	1	0	1
老上西	23	0	3	12	5	1	2	0
玉川	24	3	3	10	7	0	1	0
南笠東	24	2	5	10	5	2	0	0
山田	23	2	6	4	5	4	1	1
笠東	14	0	1	6	7	0	0	0
笠東東	27	5	5	3	8	5	1	0
常盤	6	0	1	0	3	2	0	0
合計	280	20	50	88	74	36	10	2

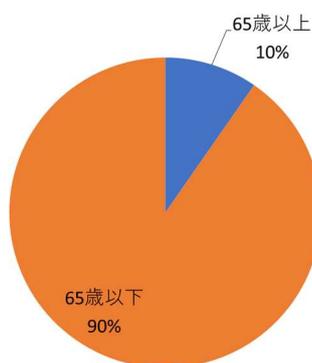
○家族数



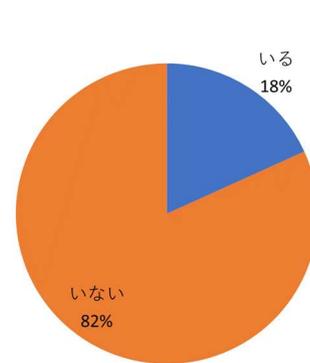
○職種



○65歳以上世帯



○小学生以下がいる世帯



### ◎緊急小口資金 280 件

○貸付件数 280 件の内、30代 50 世帯、40代 88 世帯、50代 74 世帯で、全体貸付件数の 76%

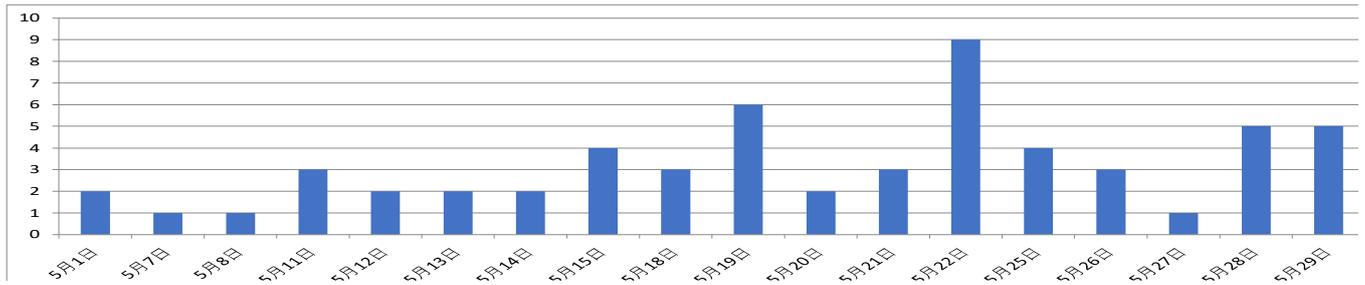
○職種は、会社員 40%、自営業 32%、無職(解雇・退職・コロナ禍で求職が困難)9%、派遣社員 8%、アルバイト 5%、パート 3%、契約社員 2%

○全体の貸付件数の内、1人家族は 48%、65歳以上がいる世帯が 10%、小学生以下がいる世帯が 18%

#### <分析>

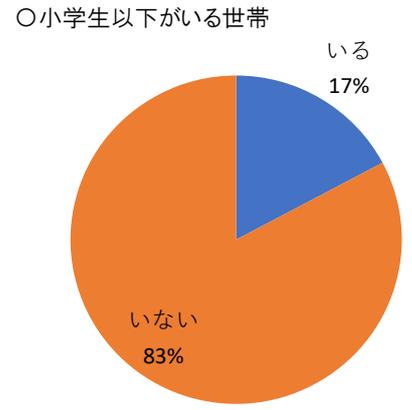
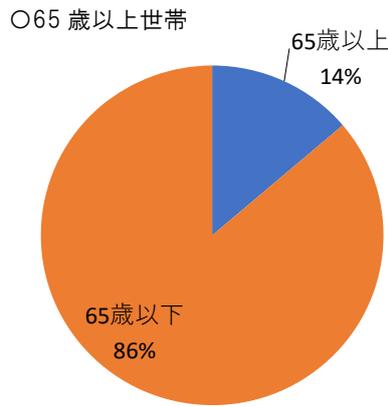
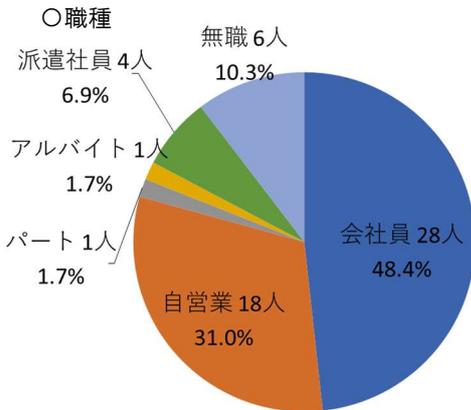
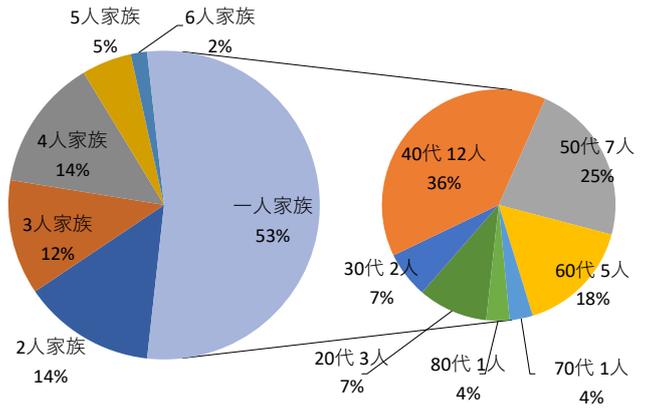
草津市でコロナの影響により、3月～5月の生活困難世帯は、一人暮らしの30～50代会社員または自営業であり、高齢者や小学生がいない世帯が経済的影響を及ぼした。リーマンショック時とは違い、派遣・契約・パート社員は少なく、無職が多いのが特徴的である。地域特徴としては、志津・草津学区への貸付が多いのは、人口等も影響している可能性が考えられる。

<総合支援資金貸付月日別件数>



○貸付者学区・年齢別貸付件数		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	8	0	2	1	2	3	0	0
志津南	3	0	0	1	2	0	0	0
草津	8	0	1	2	2	1	2	0
大路	3	0	0	2	1	0	0	0
渋川	0	0	0	0	0	0	0	0
矢倉	5	0	1	2	1	1	0	0
老上	0	0	0	0	0	0	0	0
老上西	6	0	2	2	2	0	0	0
玉川	2	0	0	2	0	0	0	0
南笠東	10	0	3	5	1	1	0	0
山田	7	1	2	1	1	1	0	1
笠縫	1	0	0	0	1	0	0	0
笠縫東	4	3	0	0	0	1	0	0
常盤	1	0	0	0	1	0	0	0
合計	58	4	11	18	14	8	2	1

○家族数



◎総合支援資金 58 件

○貸付件数 58 件の内、30代 11 世帯 40代 18 世帯、50代 14 世帯で、全体貸付件数の 74%

○職種は、会社員 48%、自営業 31%、無職(解雇・退職・コロナ禍で求職が困難)10%、派遣社員 7%、アルバイト 2%、パート 2%

○全体の貸付件数の内、1人家族は 53%うち 40代 36%、50代 25%であが占める割合は、25%であ 61%である。

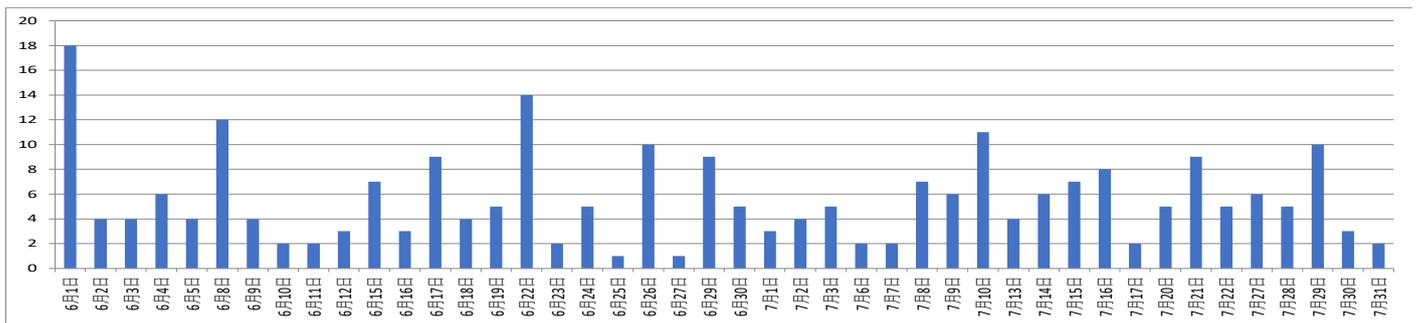
○65歳以上世帯 14%、小学生以下がいる世帯 17%

<分析>

草津市でコロナの影響により、3月～5月の生活困難世帯は、一人暮らしの30～50代会社員または自営業であり、高齢者や小学生がいない世帯が経済的影響を及ぼした。リーマンショック時とは違い、派遣・契約・パート社員は少なく、無職が多いのが特徴的である。地域特徴としては、志津・草津学区が多いのは特例小口資金も多いことが理由であると考えられる。しかし南笠東・山田学区が多いのは、特例小口資金を利用された時には長期的な経済的影響が起きており、特例総合資金を申請されたと考えられる。

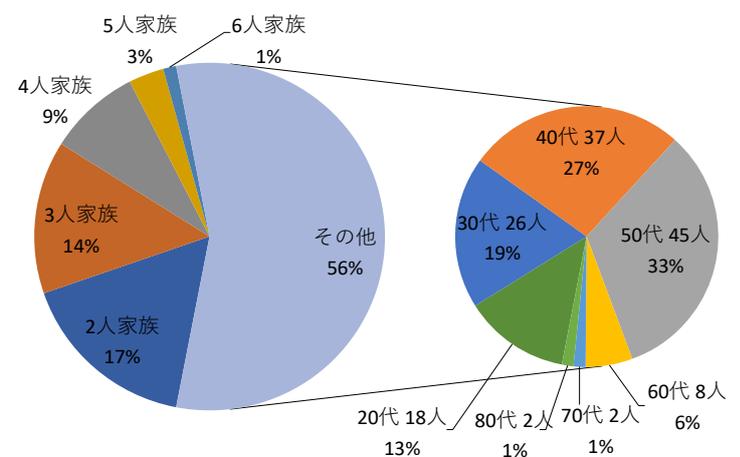
## ②第二弾 6月1日～7月31日まで(緊急小口資金 246 件・総合支援資金 237 件貸付分)

### <緊急小口資金貸付月日別件数>

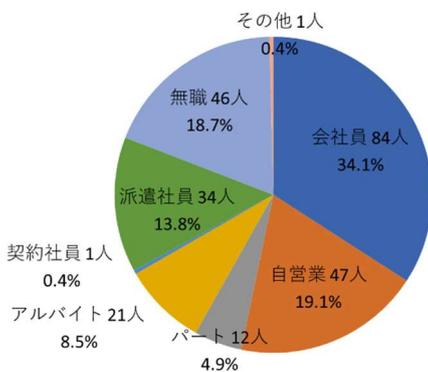


学区	件数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	32	5	6	12	8	1	0	0
志津南	6	1	0	1	2	1	0	1
草津	24	3	6	7	4	3	0	1
大路	14	0	6	1	6	1	0	0
洪川	16	3	2	5	4	2	0	0
矢倉	18	2	9	1	5	0	1	0
老上	11	2	1	5	3	0	0	0
老上西	18	3	3	2	5	4	0	1
玉川	20	4	3	8	4	0	1	0
南笠東	16	4	3	6	3	0	0	0
山田	27	3	5	8	6	4	1	0
笠縫	19	4	3	4	7	1	0	0
笠縫東	18	1	3	5	7	0	1	1
常盤	7	1	0	2	1	3	0	0
合計	246	36	50	67	65	20	4	4

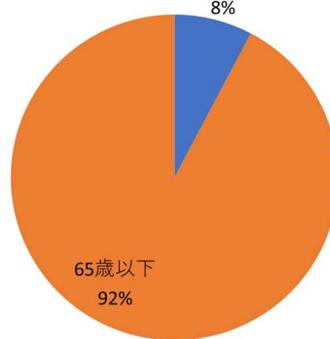
○家族数



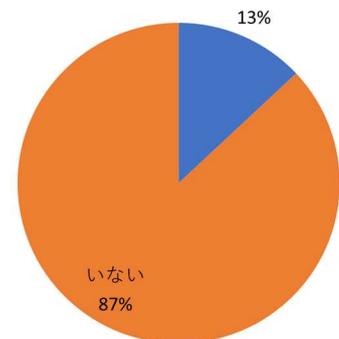
○職種



○65歳以上世帯



○小学生以下がいる世帯



### ◎緊急小口資金 246 件分析【累計 526 件】

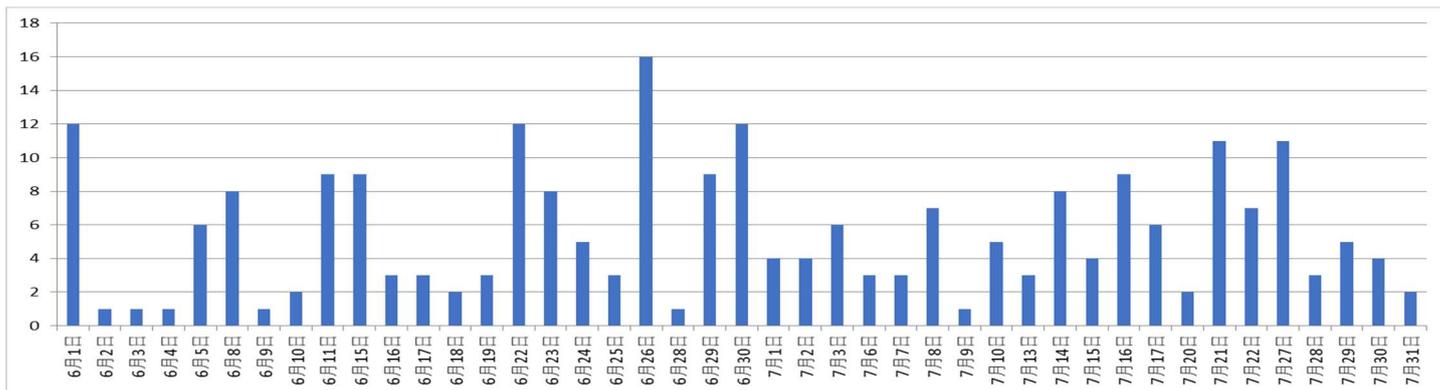
○貸付件数 246 件の内、30代 50 世帯、40代 67 世帯、50代 65 世帯で、全体貸付件数の 74% 3～5 月までと比較して全体的に減少、これは、給付金申請が影響していると考えられる。20代は、20 世帯から 36 世帯と増加、80代も 4 世帯と増加している。世帯主年齢は、20代が増加している。

○職種は、3～5 月までと比較して会社員、自営業は多いものの、無職(解雇・退職・コロナ禍で求職が困難)の世帯が倍増している。派遣社員も増加している。無職・派遣社員で 30%程度となっている。

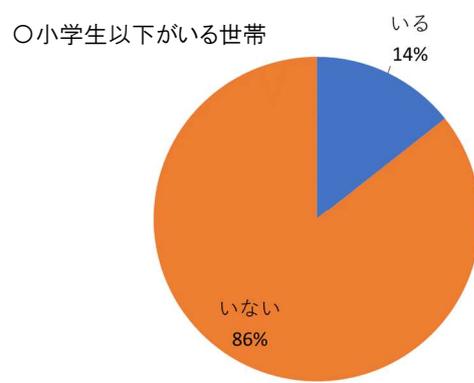
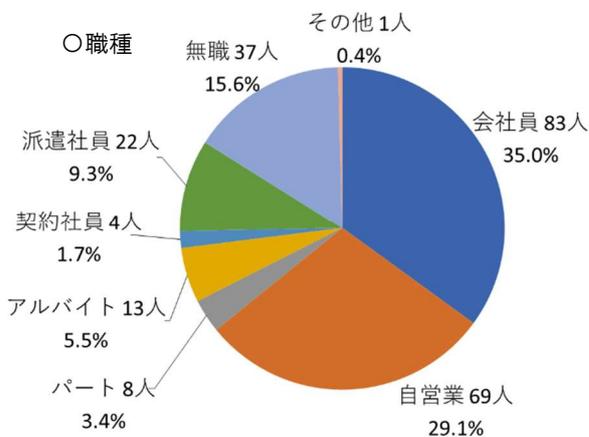
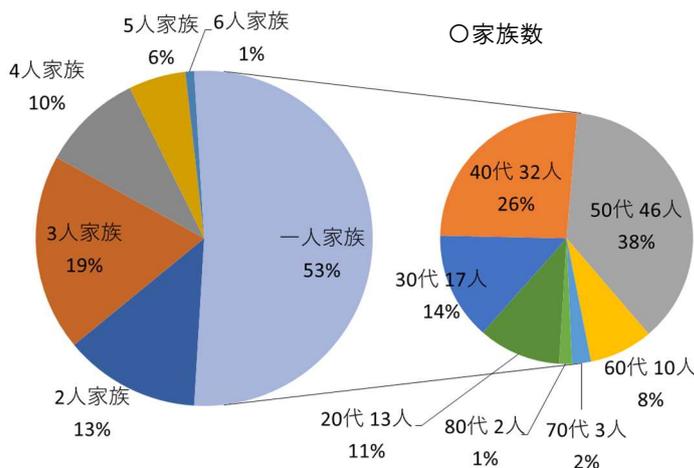
○全体の貸付件数の内、1人世帯は 48%でうち 50代以上が占める割合は、46%である。3～5 月までと比較すると 5%の減少であり、一人暮らし世帯でも若い世代が増加している。65歳以上世帯 8%、小学生以下がいる世帯が 13%、3～5 月までと比較すると 65 歳以上の世帯が減少。

○地域分析では、3～5 月までは、志津学区・草津学区が多いのに対し、6～7 月では志津学区・山田学区が多い。3～5 月に多かった草津学区も引き続き多い。

<総合支援資金貸付月日別件数>



○貸付者学区・年齢別貸付件数								
	件数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	35	4	5	11	13	2	0	0
志津南	8	0	1	3	3	0	0	1
草津	28	5	3	7	6	5	1	1
大路	11	0	4	5	2	0	0	0
渋川	13	0	2	4	4	2	1	0
矢倉	21	3	4	4	5	4	1	0
老上	8	0	1	4	2	1	0	0
老上西	18	0	1	6	6	3	1	1
玉川	23	2	2	9	9	0	1	0
南笠東	12	2	3	4	2	1	0	0
山田	21	1	3	6	6	4	1	0
笠縫	18	2	3	6	6	1	0	0
笠縫東	16	3	3	2	6	1	0	1
常盤	5	0	1	0	2	2	0	0
合計	237	22	36	71	72	26	6	4



◎総合支援資金 237件【累計 295件】

○貸付件数 235 件の内、30代 36 世帯 40代 71 世帯、50代 72 世帯で、全体貸付件数の 76% 3~5 月までと比較すると全体として 4 倍以上となり、特例小口資金を借りた世帯の多くは特例総合資金へ移行されている。その結果、特例総合支援資金は、特例小口資金を借りた 1 カ月後にピークがやってくる。

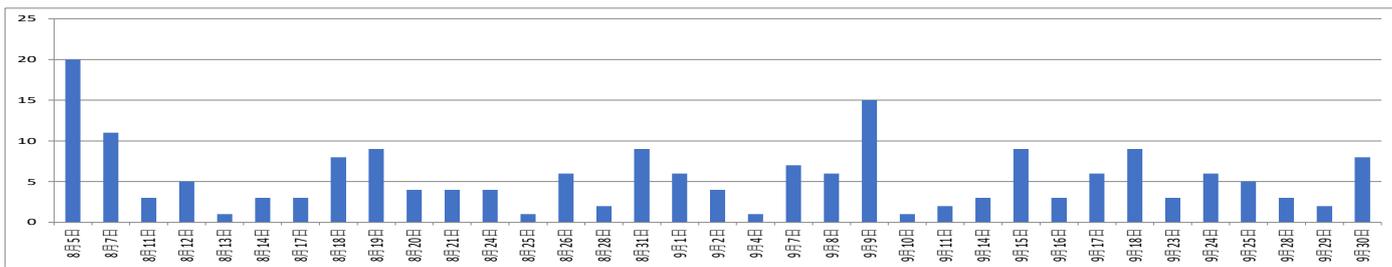
○職種は、3~5 月までと比較すると会社員・自営業は、高い割合ではあるが、無職(解雇・退職・コロナ禍で求職が困難)が 11%から 15%と増えてきている。また、派遣社員・アルバイトも増加傾向にある。

○全体の貸付件数の内、1人世帯は 53%でうち 50 代以上が占める割合は、51%である。65 歳以上世帯 9%、小学生以下がいる世帯 14%と 3~5 月と大きく変化してないよう見えるが、3 人世帯の割合が 6%増加している。

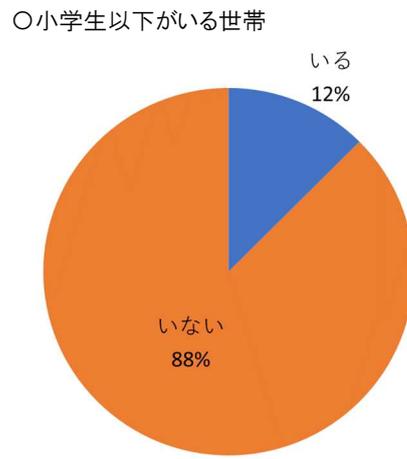
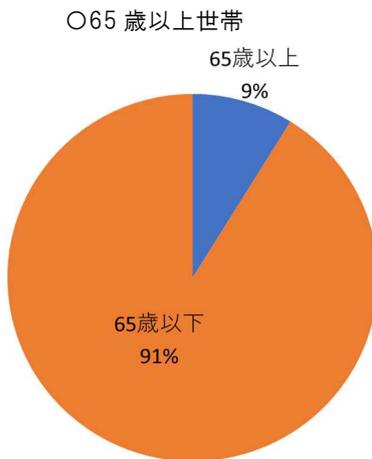
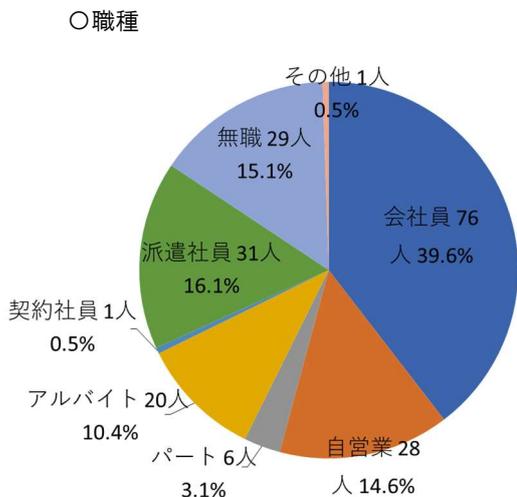
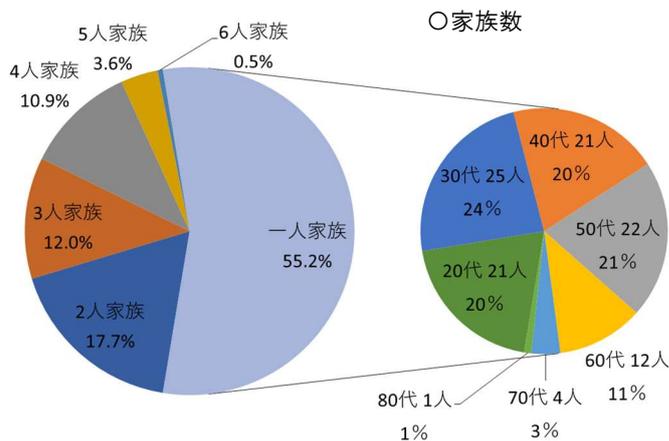
○地域分析では、3~5 月までは、南笠東学区・志津学区・草津学区が多いのに対し、6~7 月では志津学区・草津学区・玉川学区・山田学区・矢倉学区が多くなっている。

### ③第三弾 8月1日～9月30日まで(緊急小口資金192件・総合支援資金180件貸付分)

#### <緊急小口資金貸付月日別件数>



学区	件数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	32	3	7	13	6	1	0	2
志津南	4	1	1	2	0	0	0	0
草津	25	7	7	4	4	3	0	0
大路	16	1	1	4	7	3	0	0
渋川	9	2	2	0	5	0	0	0
矢倉	8	0	2	2	2	1	1	0
老上	2	1	0	0	1	0	0	0
老上西	14	0	4	4	1	5	0	0
玉川	18	5	5	6	2	0	0	0
南笠東	18	3	6	2	5	2	0	0
山田	14	1	2	3	3	2	3	0
笠縫	10	1	3	4	0	2	0	0
笠縫東	18	4	2	4	4	2	2	0
常盤	4	0	1	1	1	1	0	0
合計	192	29	43	49	41	22	6	2



#### ◎緊急小口資金192件分析【累計718件】

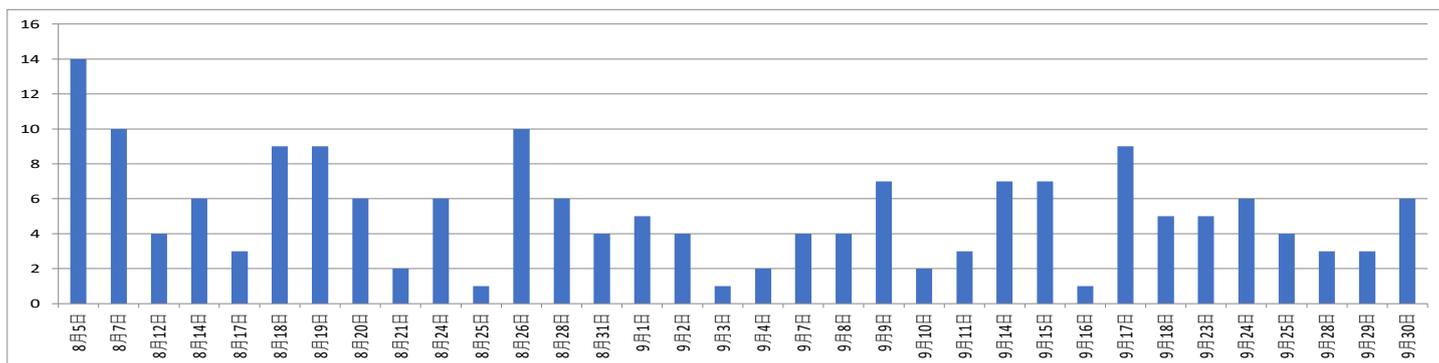
○貸付件数192件の内、30代43世帯、40代49世帯、50代41世帯で、全体貸付件数の69%。6～7月までと比較して全体的に微減少であり、イメージとしては、外国人国籍居住者が増加している。

○職種は、6～7月までと比較して会社員、自営業が継続的に多いものの、派遣社員も微増加している。

○全体の貸付件数の内、1人世帯は55%のうち50代以上が占める割合は、37%。6～7月までと比較すると減少であり、一人暮らし世帯でも若い世代が微増加している。65歳以上世帯9%、小学生以下がいる世帯が12%とあまり変化していない。

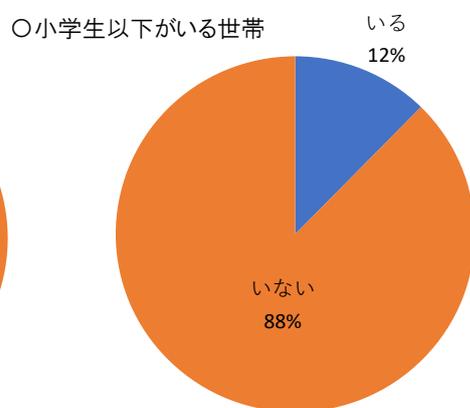
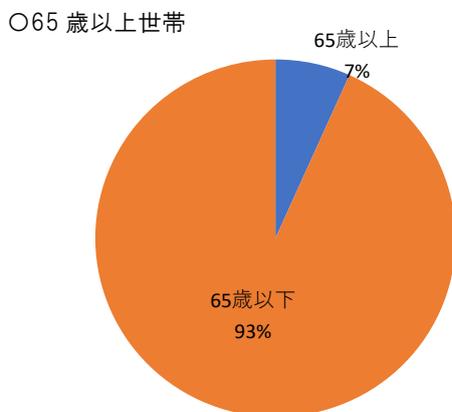
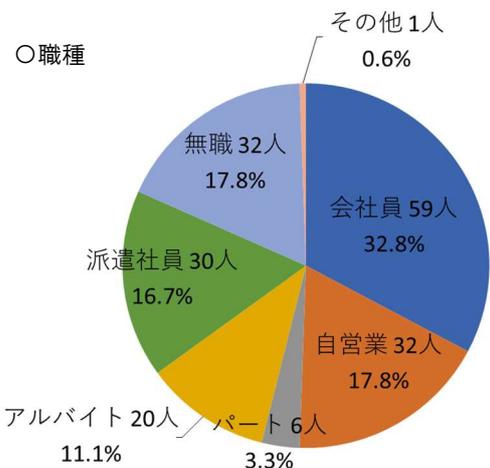
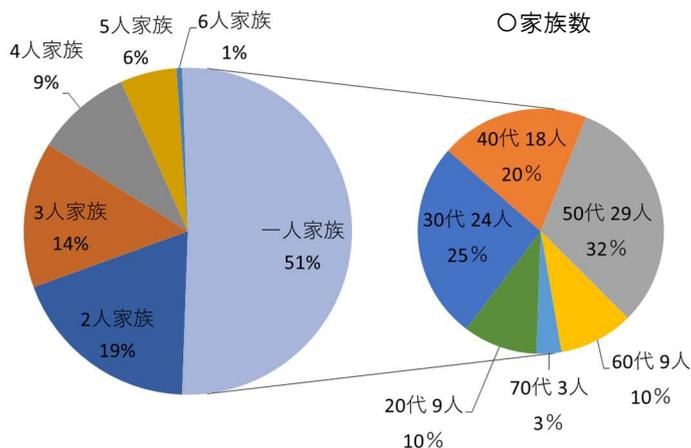
○地域分析では、これまでと同様に志津学区32世帯・草津学区25世帯が多いが、笠縫東学区18世帯・玉川学区18世帯・南笠東学区18世帯も増加している。

<総合支援資金貸付月日別件数>



○貸付者学区・年齢別貸付件数

	件数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	25	3	5	14	2	1	0	0
志津南	3	0	1	2	0	0	0	0
草津	18	2	5	4	3	4	0	0
大路	15	0	2	2	10	1	0	0
渋川	10	1	2	2	4	1	0	0
矢倉	12	0	4	3	3	1	1	0
老上	3	0	0	1	2	0	0	0
老上西	17	1	5	3	3	5	0	0
玉川	13	3	5	3	2	0	0	0
南笠東	14	2	3	4	3	2	0	0
山田	17	1	4	3	5	2	2	0
笠縫	14	2	4	4	3	1	0	0
笠縫東	15	3	0	4	6	0	2	0
常盤	4	1	0	2	1	0	0	0
合計	180	19	40	51	47	18	5	0



◎総合支援資金 180 件【累計 475 件】

○貸付件数 235 件の内、30代 36 世帯、40代 23 世帯、50代 29 世帯で、全体貸付件数の 76% 6~7 月までと比較すると全体として、同比率であり貸付件数は微減少しているものの世帯状況は変化していない。

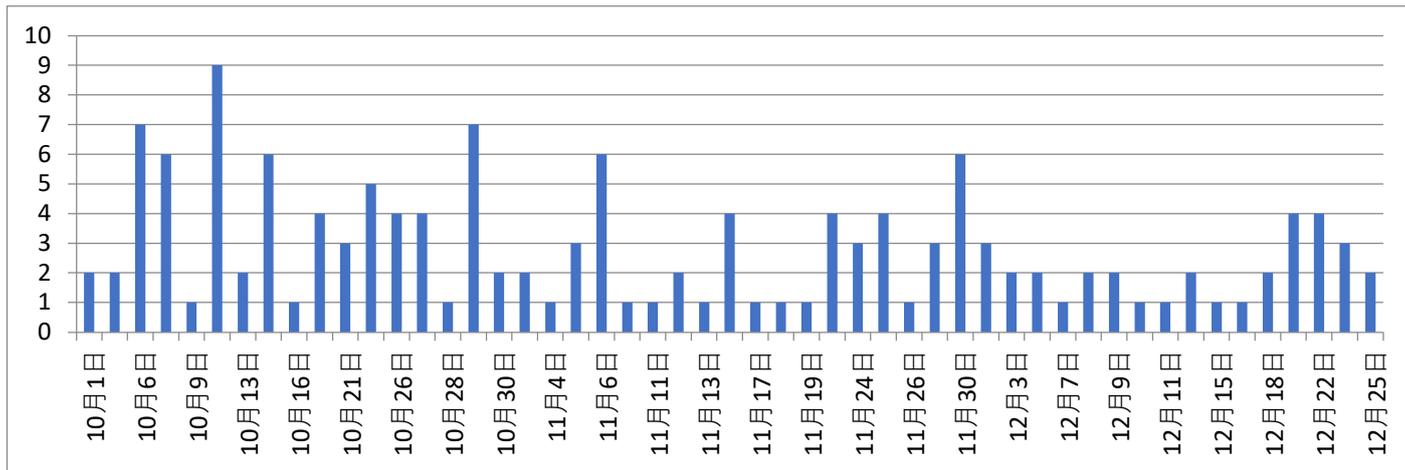
○職種は、6~7 月までと比較すると会社員・自営業が、そのまま高い割合ではある。

○全体の貸付件数の内、1人世帯は 51% でうち 50 代以上が占める割合が 32% であり、65 歳以上世帯 93%、小学生以下がいる世帯 12% と 6~7 月と大きく変化してないように見える。しかし、2人世帯・3人世帯の割合が増加している。

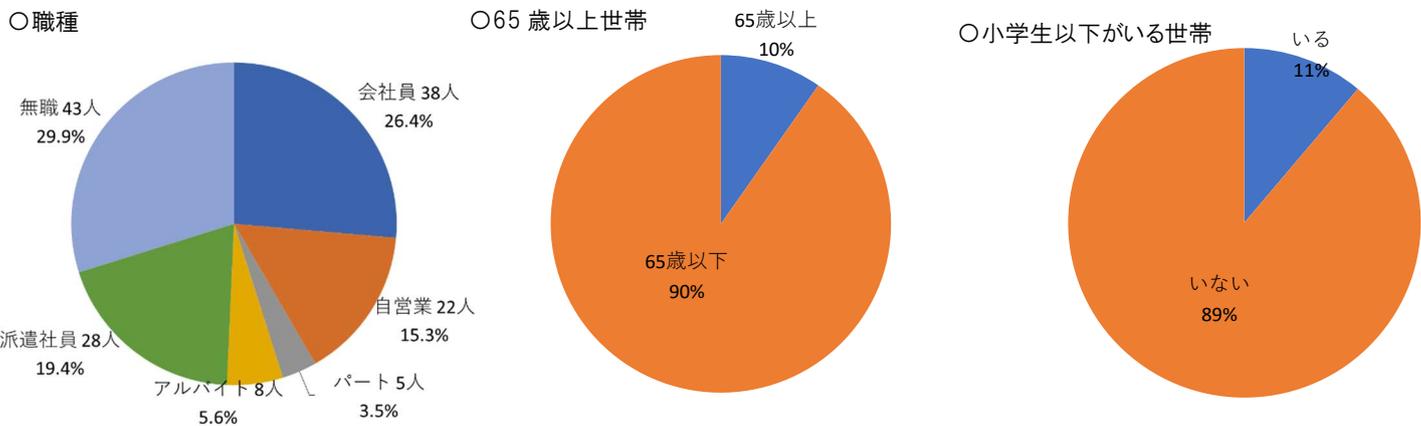
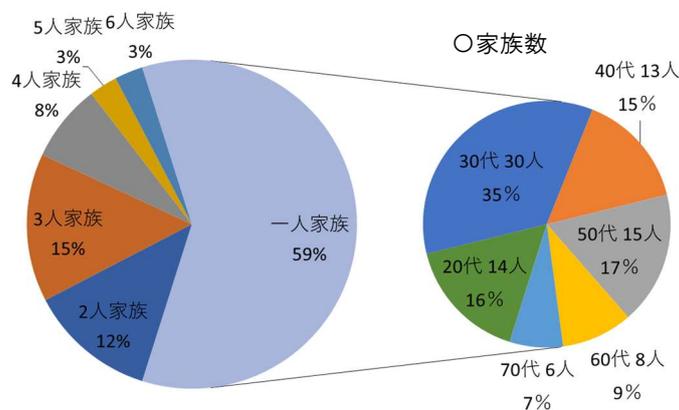
○地域分析では、3~5 月までは、南笠東 9 世帯・志津学区 8 世帯・草津学区 8 世帯が多く、6~7 月では志津学区 35 世帯・草津学区も 26 世帯・玉川 23 世帯・山田学区 20 世帯 と多かった。8~9 月は、志津学区 24 世帯で一番多いがその他の学区は均等に増加している。

④第四弾 10月1日～12月31日まで(緊急小口資金144件・総合支援資金157件貸付分)

<緊急小口資金貸付月日別件数>



学区	件数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	30	5	7	6	7	3	2	0
志津南	1	0	1	0	0	0	0	0
草津	18	4	4	2	3	2	3	0
大路	12	1	2	2	6	1	0	0
渋川	7	1	3	2	0	0	1	0
矢倉	2	0	2	0	0	0	0	0
老上	4	0	1	0	1	1	1	0
老上西	14	5	3	2	4	0	0	0
玉川	7	3	0	1	1	2	0	0
南笠東	12	2	5	3	2	0	0	0
山田	10	5	1	1	2	0	1	0
笠縫	11	4	2	2	0	2	1	0
笠縫東	14	2	5	1	3	2	1	0
常盤	2	1	0	1	0	0	0	0
合計	144	33	36	23	29	13	10	0



◎緊急小口資金144件分析【累計862件】

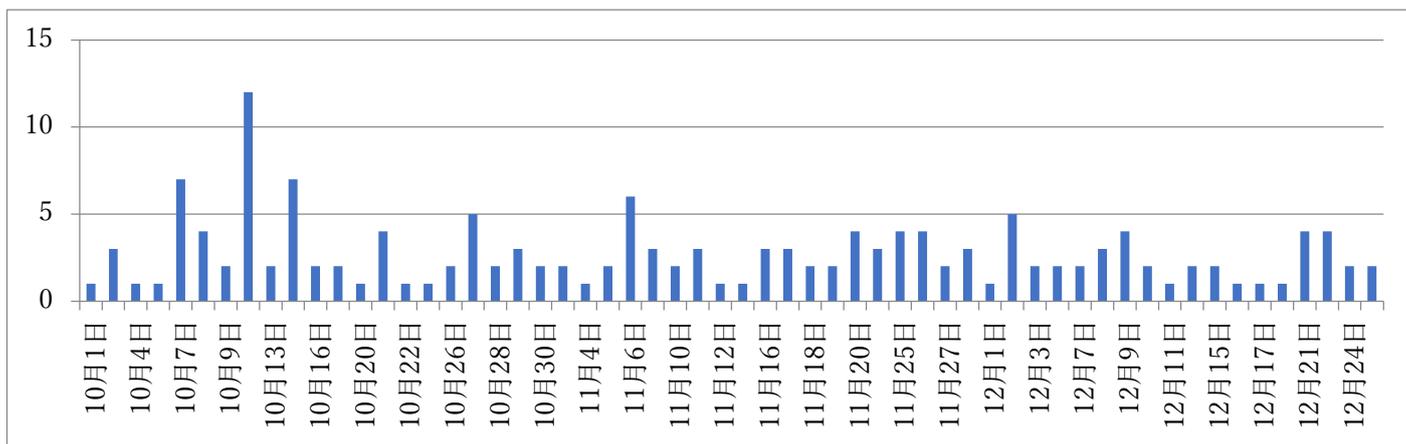
○貸付件数144件の内、20代33世帯、30代36世帯、40代23世帯、50代29世帯で、全体貸付件数の84%であり、20代の貸付が増えてきた。

○職種は、8～9月までと比較して会社員、自営業が継続的に多いものの、派遣社員も微増加していたが、無職が急増してきました。

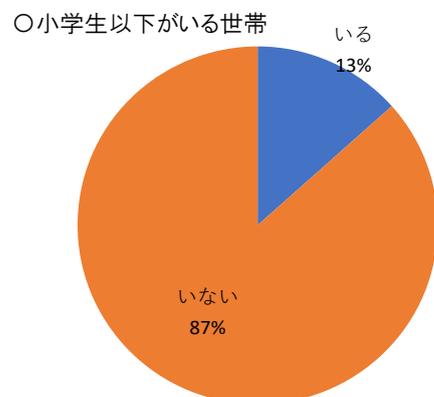
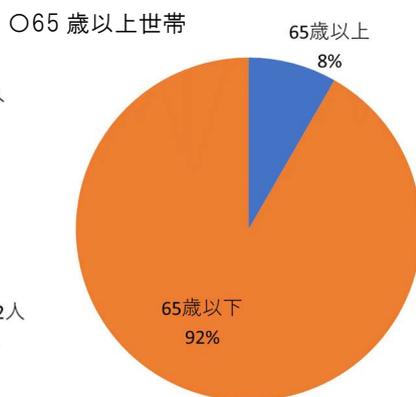
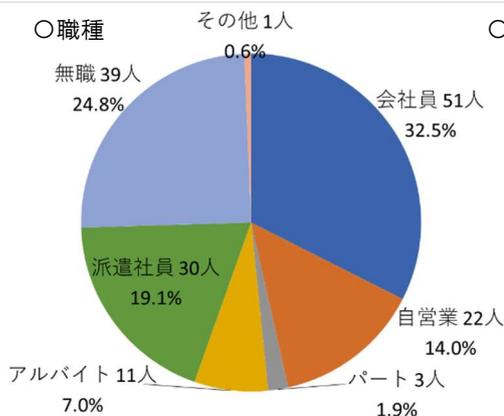
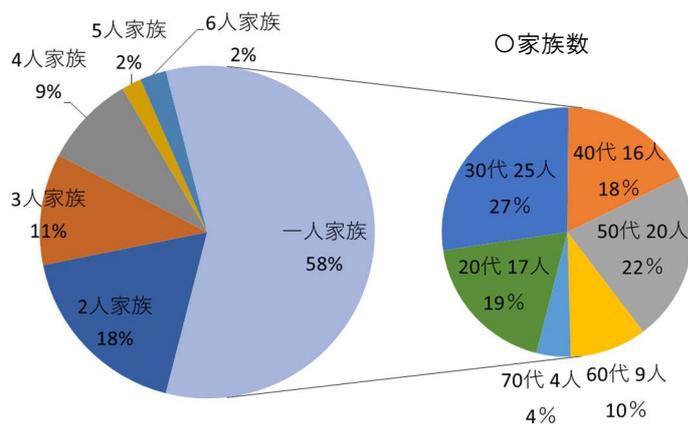
○全体の貸付件数の内、1人世帯は59%のうち、初めて30代以上が占める割合が35%となり、一番高い割合となっている。65歳以上世帯10%、小学生以下がいる世帯が11%とあまり変化していない。

○地域分析では、これまでと同様に志津学区30世帯・草津学区18世帯とずっと多い。次に、老上西学区・笠縫東学区が14世帯と多い。

<総合支援資金貸付月日別件数>



○貸付者学区・年齢別貸付件数	件数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	34	6	11	5	9	1	2	0
志津南	2	0	1	0	0	1	0	0
草津	20	4	5	3	4	2	2	0
大路	10	1	1	3	4	1	0	0
洪川	10	3	3	2	2	0	0	0
矢倉	3	0	1	1	0	1	0	0
老上	2	0	0	0	0	1	1	0
老上西	16	7	1	4	3	0	1	0
玉川	7	3	2	0	1	1	0	0
南笠東	14	1	6	3	4	0	0	0
山田	12	2	1	3	2	3	1	0
笠縫	9	3	1	2	1	2	0	0
笠縫東	15	3	3	2	4	2	1	0
常盤	3	0	1	2	0	0	0	0
合計	157	33	37	30	34	15	8	0



◎総合支援資金 157 件【累計 632 件】

○貸付件数 157 件の内、20 代 33 世帯、30 代 37 世帯、40 代 30 世帯、50 代 34 世帯で、全体貸付件数の 85% となり、20 代が多くなってきた。

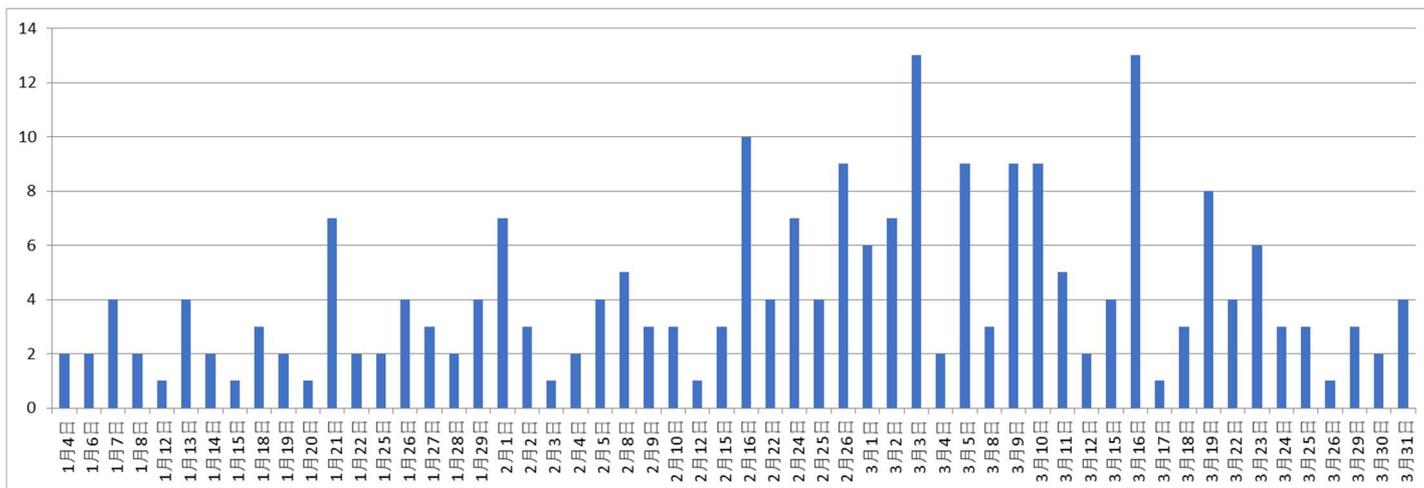
○職種は、8～9 月までと比較すると会社員・自営業が、そのまま高い割合であるが、無職が 24.8% と増加した。

○全体の貸付件数の内、1 人世帯は 58% で、今までは 50 代以上が占める割合が高かったが、30 代の割合が高くなってきた。65 歳以上世帯 92%、小学生以下がいる世帯 13% と大きく変化してない。

○地域分析では、3～5 月までは、南笠東 9 世帯・志津学区 8 世帯・草津学区 8 世帯が多く、6～7 月では志津学区 35 世帯・草津学区も 26 世帯・玉川 23 世帯・山田学区 20 世帯 と多かった。8～9 月は、志津学区 24 世帯で一番多いがその他の学区は均等に増加している。10～12 月は、志津学区 34 世帯、草津学区 20 世帯、老上西学区 16 世帯、笠縫東学区 15 世帯、南笠東学区 14 世帯となっている。

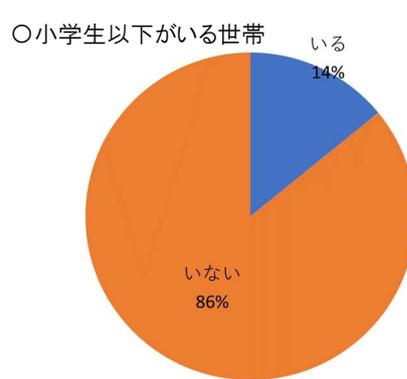
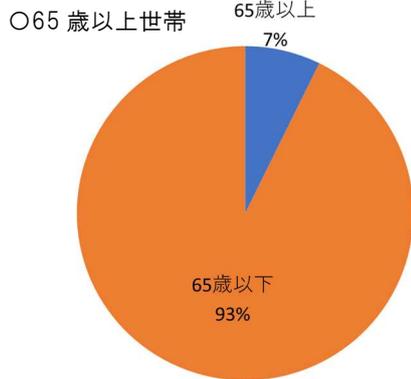
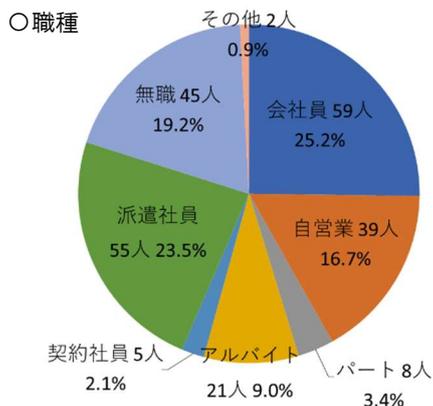
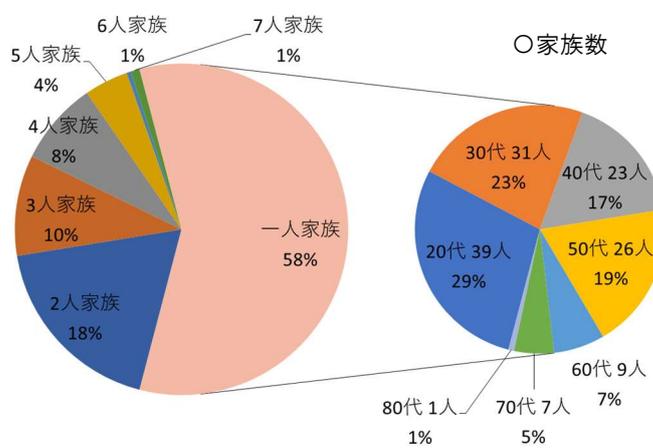
④第五弾 令和3年1月1日～3月31日まで(緊急小口資金 234 件・総合支援資金 234 件貸付分)

<緊急小口資金貸付月日別件数>



○貸付者学区・年齢別貸付件数

	件数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	34	6	12	6	7	2	1	0
志津南	4	0	0	2	1	0	1	0
草津	34	6	10	8	5	3	2	0
大路	17	6	0	3	6	1	1	0
洪川	10	6	2	0	1	0	1	0
矢倉	12	4	2	3	3	0	0	0
老上	4	2	2	0	0	0	0	0
老上西	20	2	6	6	5	1	0	0
玉川	34	11	7	8	5	2	1	0
南笠東	12	3	3	2	2	2	0	0
山田	16	2	3	4	4	2	0	1
笠縫	11	1	5	2	1	1	1	0
笠縫東	21	5	6	6	2	1	1	0
常盤	5	1	1	2	0	1	0	0
合計	234	55	59	52	42	16	9	1



◎緊急小口資金 234 件分析【累計 1096 件】

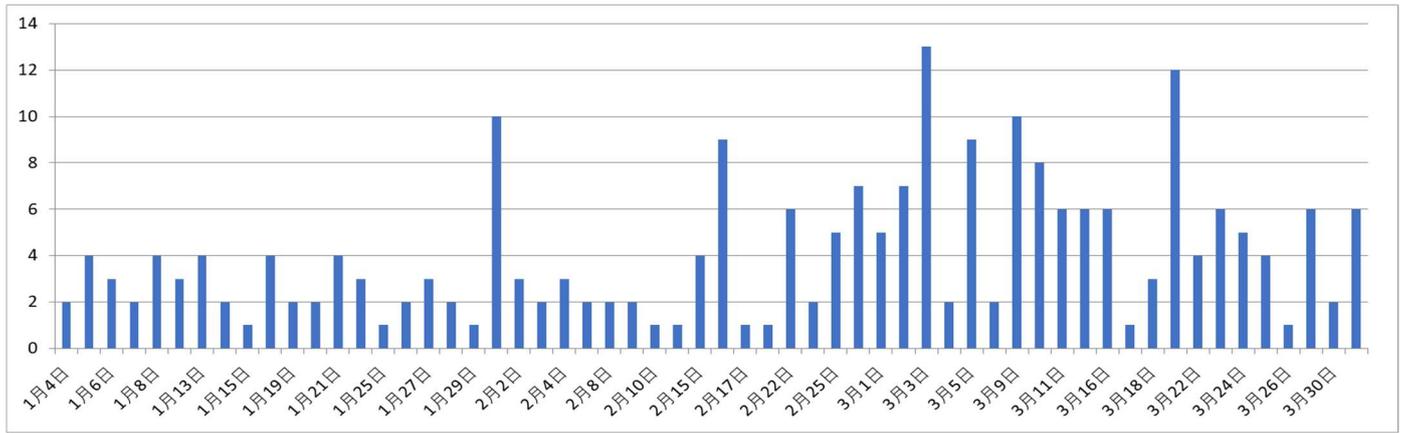
○貸付件数 234 件の内、20代 55 世帯、30代 59 世帯、40代 52 世帯、50代 42 世帯で、全体貸付件数の 88.8%であり、20代～50代世帯が占めている。

○職種は、8～9月までと比較して会社員、自営業が継続的に多いものの、派遣社員・無職が急増してきました。

○全体の貸付件数の内、1人世帯は 58%のうち、初めて 20代が占める割合が 29%と一番高い割合となっている。65歳以上世帯 7%、小学生以下がいる世帯が 14%とあまり変化していない。

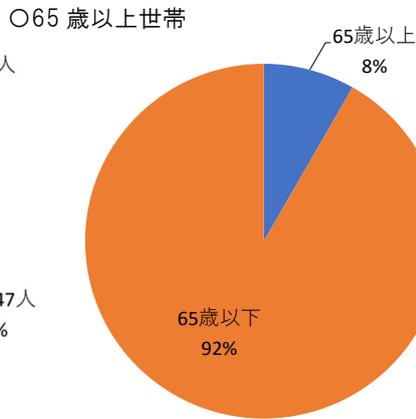
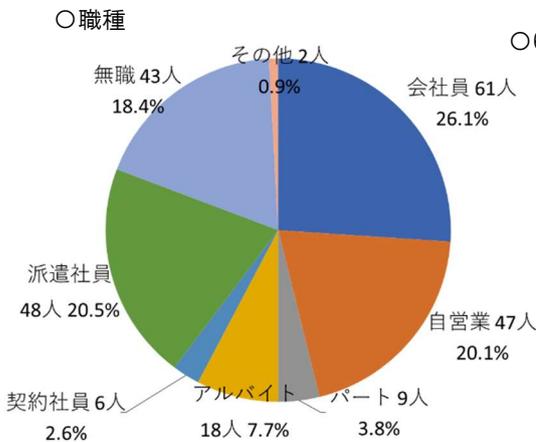
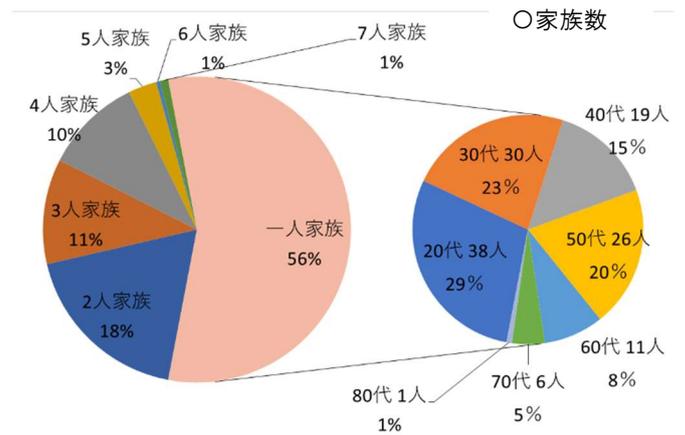
○地域分析では、これまでと同様に志津学区 34 世帯・草津学区 34 世帯、玉川学区が 34 世帯と多い。

<総合支援資金貸付月日別件数>



○貸付者学区・年齢別貸付件数

学区	件数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	33	6	10	7	6	2	1	1
志津南	4	0	0	2	1	0	1	0
草津	26	4	9	5	5	2	1	0
大路	16	5	1	2	6	1	1	0
渋川	13	5	4	1	2	0	1	0
矢倉	13	3	3	3	3	1	0	0
老上	9	3	2	1	2	0	0	1
老上西	17	1	5	5	5	1	0	0
玉川	29	12	5	7	5	0	0	0
南笠東	15	3	3	1	5	2	1	0
山田	20	1	6	4	6	1	1	1
笠縫	12	1	5	2	2	1	1	0
笠縫東	22	6	7	4	2	2	1	0
常盤	5	1	1	1	0	2	0	0
合計	234	51	61	45	50	15	9	3



◎総合支援資金 234 件【累計 866 件】

○貸付件数 234 件の内、20代 51 世帯、30代 61 世帯、40代 45 世帯、50代 50 世帯で、全体貸付件数の 88.5%となり、20 代世帯が増加となってきた。

○職種は、8～9 月までと比較すると会社員・自営業が、そのまま高い割合であるが、無職・派遣社員が増加した。

○全体の貸付件数の内、1人世帯は 56%で、今までは 50 代以上が占める割合が高かったが、20 代の割合が高くなってきた。65 歳以上世帯 8%、小学生以下がいる世帯 14%と大きく変化してない。

○地域分析では、志津学区 33 世帯、玉川学区 29 世帯、草津学区 26 世帯と多い。

## 2. フードバンク事業 ～品物の配分だけでなく 心を伝える応援活動～

草津市内の各企業・団体からいただいた備品・食品等を新型コロナウイルス感染症拡大の中頑張っておられる生活困窮者への支援をしているグループ(フードバンク滋賀)、障害者施設(グループホーム、就労支援施設)、高齢者施設(特養、デイサービスセンター)、医療機関(ケアセンター)、草津市公設児童育成クラブ、学区社協拠点等へ配分しました。

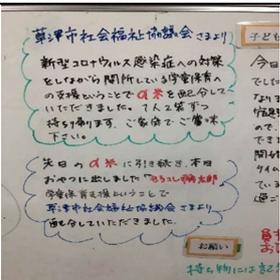
### 1) 市立学校給食センターからの食材を市内福祉施設等へ応援

新型コロナウイルス感染症拡大につき、臨時休校にともなう廃棄処分となる給食食材の有効活用を図り、不休で頑張っておられる福祉関係施設へ配分しました。(案内:生活困窮者への支援、障害者施設、高齢者施設、医療機関、地域活動団体 **69 団体**)

配分量	食品 <b>6805.55kg</b>	配分調整回数	<b>5回(4/20、4/24、4/27、4/30、5/1)</b>
配分食材 40種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・果物、野菜(りんご、きゃべつ、ごぼう、さつまいも、こまつな、もやしなど)</li> <li>・魚(あじの切身、ししゃも、カレイの切身)、肉(鶏もも肉、牛もも肉)</li> <li>・冷凍の食品(油揚げ、とうもろこし、豆腐、オールポークハンバーグなど)</li> </ul>		
配分先 48施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活困窮者への支援をしているグループ(フードバンク滋賀)</li> <li>・障害者施設(グループホーム、就労支援施設)</li> <li>・高齢者施設(特養、デイサービスセンター)</li> <li>・医療機関(ケアセンター)</li> </ul>		

### 2) 企業から頂いたお菓子520個を子どもたちのために応援

新型コロナウイルス感染症拡大につき、イベントが中止となり、フェリエ南草津テナント会様からご寄附をいただき、市内で頑張っておられる児童育成クラブへ配分しました。(案内:市内児童育成クラブ **29 団体**)

配分品	・お菓子 <b>520袋</b> (4種類)	配分調整回数	<b>2回(6/11、6/12)</b>
配分先 6団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草津市公設児童育成クラブ のびっ子大路</li> <li>・草津市公設児童育成クラブ のびっ子老上</li> <li>・草津市公設児童育成クラブ のびっ子老上西</li> <li>・草津市公設児童育成クラブ のびっ子玉川</li> <li>・草津市民設児童育成クラブ くじら</li> <li>・草津市民設児童育成クラブ スポキッズ草津</li> </ul>		

### 3) 日本農産(株)から玉ねぎ約3,000個を地域福祉活動者等へ応援

新型コロナウイルス感染症拡大で、様々な寄付備品の受入れを実施していることを聞き、畑にある大玉の玉ねぎ約10,000個ご寄付をいただき配分しました。(案内:生活困窮者への支援、障害者施設、高齢者施設、医療機関、地域活動団体**69団体**と県社協を通じて栗東市社協、草津・守山・栗東の子ども食堂 **15カ所**)

配分品	・玉ねぎ <b>約3,000個</b>	配分調整回数	<b>1回(6/27)</b>
配分先 6団体 施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀県立信楽学園 500個</li> <li>・フードバンク滋賀 500個</li> <li>・社会福祉法人びわこ学園びわこ学園医療福祉センター草津 500個</li> <li>・草津学区社協拠点立ち寄りカフェゆかい家 500個</li> <li>・スペースウィン 500個</li> <li>・山田学区キラキラキッチンやまだっ子 500個</li> </ul>		

## 4) 日本農産(株)から玉ねぎ約6,000個を地域福祉活動者等へ応援

新型コロナウイルス感染症拡大で、様々な寄付備品の受入れを実施していることを聞き小玉の玉ねぎ約10,000個ご寄付をいただき市内で頑張っておられる施設活動者へ配分しました。(案内:生活困窮者への支援、障害者施設、高齢者施設、医療機関、地域活動団体 **69 団体**と草津の子ども食堂 **15 力所**)

配分品	・玉ねぎ 約 6,200 個	配分調整回数	1 回(7/10)
配分先 14 団体 施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人寿会草津市北部デイサービスセンター 常輝の里 400 個</li> <li>・社会福祉法人びわこ学園医療福祉センター草津 400 個</li> <li>・滋賀県立信楽学園 400 個</li> <li>・フードバンク滋賀 400 個</li> <li>・草津学区社協拠点立ち寄りカフェゆかい家 700 個</li> <li>・特定非営利法人宅老所心 400 個</li> <li>・山田学区キラキラキッチンやまだっ子 400 個</li> <li>・社会福祉法人こなん SNN シエスタ 400 個</li> <li>・特定非営利法人ワークパートナーきらら穴村 400 個</li> <li>・矢倉学区にこにこレストラン 400 個</li> <li>・社会福祉法人しあわせ会むつみ園 400 個</li> <li>・社会福祉法人聖優会特別養護老人ホーム菖蒲の郷 400 個</li> <li>・社会福祉法人若竹会ワークステーションわかたけ 700 個</li> </ul>		



## 5) 市立学校給食センターからの食材を市内入所施設等へ応援

新型コロナウイルス感染症拡大につき、臨時休校にともなう廃棄処分となる給食食材の有効活用を図り、不休で頑張っておられる高齢者・障害者入所施設・居宅介護事業所・生活困窮者への支援・地域福祉活動団体等へ配分しました。(31 施設・団体へ案内)

配分品	・納豆 680 個	配分調整回数	2 回(令和 3 年 1/28、1/29)
配分先 6 団体 施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別養護老人ホーム風和里 160 個</li> <li>・草津学区社協拠点立ち寄りカフェゆかい家 150 個</li> <li>・居宅介護事業所きらら 170 個</li> <li>・フェイス小規模多機能型居宅介護 60 個</li> <li>・社会福祉法人こなん SNN40 個</li> <li>・フードバンク滋賀 100 個</li> </ul>		



### 3. 「素敵なおまごころ便」つながりの連鎖で再構築 ～ありがとう から ありがとうへ～

5月22日～7月31日

6/7 京都新聞掲載・NHK 放送

#### 1) 第一弾 孤立孤独な高齢者を応援「まごころ便」

市内の地域サロン活動が、新型コロナウイルスの感染症拡大予防の関係から開催中止せざるを得なくなりました。活動者の方々とお話をしている中で、高齢者の方々が「地域サロンへ行けなくなって独りで家にいます。さびしいです。」等の声を聴きました。そこで市社協は、地域サロン参加者の方々に「心豊かに暮らしにゆとりを届けたい」と「地域サロンと参加者のつながりづくり」という思いから「素敵なおまごころ便」を実施することにしました。地域サロン代表者に希望数を渡し、市内の高齢者宅へ郵送しました。

◎封筒の中身: 詩人 里みちこさんからの草津市民へ「つながり」メッセージ  
(詩人里みちこさんと市社協コラボ、特定非営利活動法人アイ・コラボレーションから「つながり」ポストカードの寄付、市社協の応援メッセージ、福祉パズル(家で脳トレをし、図書カードをゲットしませんか)、収集ボランティアのチラシ



学区	配布サロン数	配布数	学区	配布サロン数	配布数	学区	配布サロン数	配布数
志津	8/15	184	矢倉	4/10	99	山田	17/17	400
志津南	2/9	30	老上	3/7	90	笠縫	4/17	186
草津	1/10	35	老上西	2/7	90	笠縫東	4/9	134
	学区社協配食事業	235						
渋川	5/12	152	南笠東	4/6	126	常盤	3/16	65
大路	2/10	8	玉川	3/10	49	合計	62/155	1,883

#### ★孤独・孤立を防ぐ活動によって私たちにも「元気」をいただきました「市社協からありがとう」

福祉パズルの回答をいただきました。コメントを入れてくださいとお願いしてないにも関わらず 54%の方々がコメントを書いてくださいました。

◎福祉パズルの回答ハガキをくださった高齢者 96人 (93人が手書き) 手書き率 97%

◎返信いただいた平均年齢 77歳 (最高年齢 92歳、最低年齢 62歳)

#### 【ハガキに書かれていた素敵なお言葉一部掲載】

- ・なかなか難しかったです。久しぶりに辞書を手にとりました。92歳
- ・嬉しかったです。眼の前がパーと輝きました。送っていただいた里みちこさんの「あじさいによせて」の詩を座席の前に貼ってます。パズルの答え何とステキ(向日葵)、ポストカード鳥さん、ふくちゃんに語りかけています。ありがとうございました。淋しかった・・・85歳
- ・コロナで外出自粛、パズルに挑戦でき、楽しかったです。早く日常生活に戻りサロンの方々に会いたいです。77歳
- ・入っていた夏の絵ハガキがきれいで、少し気分が解放されました。ありがとう。66歳
- ・職員の方々の頑張りを感しました。頑張ってください。79歳
- ・コロナウイルス感染拡大防止のため町内のサロンもすべて中止の状態です。早くみなさんと出会いたいです。一人住まいの方が心配です。ひまわり夏の花、みんなに元気を与えてくださいねっ。

## 2) 第二弾 地域福祉活動応援「まごころ便」市内163団体を応援

1.目的:市内の地域福祉活動が、新型コロナウイルスの感染症拡大防止の関係から活動を中止せざるを得なくなっております。しかし、この時期に三密等を避け、地域福祉活動を再開されます活動者皆さまの前向きな気持ちの後押しができればと考え、地域福祉活動に参加していただく方々に、安心と安全のまごころを届ける地域福祉活動応援「まごころ便」を配布しました。また、配布品については、賛同していただいた企業からの寄付です。

配分先	団体数	人数
高齢者地域サロン	155	4,394
子ども食堂	8	245
合計	163	4,639

2.対象 市内の地域サロン・子ども食堂

3.まごころ便の内容と配分数

### ●高齢者地域サロン・子ども食堂共通

配布物	配布基準	配布数
草津市社協会長メッセージ	1 団体 1 通	163
市社協作成「熱中症×新しい生活様式チラシ」		

### ●高齢者地域サロン

配布物	配布基準	配布数
地域サロン「ご自慢活動」報告書	1 団体 1 通	155
市社協作成脳トレ全集「福祉パズルで GO」	1 団体 1 通	155
飲料(コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社)	1 団体 8 本	1,240
次亜塩素酸液(有限会社管財技研)	1 団体 2 本	310
アルコール除菌シート(株式会社阪急オアシス)	1 団体 4 個 (1個 50 枚入)	620
大人用マスク(市役所)	一人一枚	4,639

### ●子ども食堂

次亜塩素酸液(有限会社管財技研)	1 団体 2 本	16
アルコール除菌シート(株式会社阪急オアシス)	1 団体 4 個 (1個 50 枚入)	32
寄付小マスク(市民からいただいた寄付)	1 団体 15 枚	120



### 3) 第三弾 福祉関係施設応援「まごころ便」市内 74 施設・事業所を応援

1.目的:新型コロナウイルスの感染症拡大防止で、いろいろな活動が停止している中でも草津市の福祉の増進のため頑張っておられる福祉関係施設等を応援します。また、この時期に三密等を避けながら、苦悩の中で利用者のために頑張っておられた福祉・医療関係施設を応援し、草津市社協地域福祉活動計画の理念である「こころ温かく 支え合い 住み続けたい 福祉のまち・くさつ」の実現の一步として「福祉関係施設応援 まごころ便」を配布しました。また、配布品については、賛同していただいた企業からの寄付です。

2.対象 市内福祉関係施設・事業所、児童育成クラブとする。

配分先	団体数	利用者人数
福祉関係施設・事業所	45	1,372
児童育成クラブ	29	1,728
合計	74	3,100

#### 3.まごころ便の内容

##### ●福祉関係施設・事業所、児童育成クラブ共通

配布物	配布基準	全配布数
草津市社協会長メッセージ	1 団体 1 通	74

##### ●福祉関係施設・事業所

次亜塩素酸液(有限会社管財技研)	1 施設・事業所 2 本	90
入浴剤(フードバンク滋賀)	1 施設・事業所 2 箱(1 箱 20 個入)	90

##### ●児童育成クラブ

次亜塩素酸液(有限会社管財技研)	1 団体 2 本	58
おりがみ(普通)	1 団体おりがみ 1 冊(1 冊 5 枚入)	29
おりがみ(大判)	1 団体おりがみ 5 冊(1 冊 5 枚入)	145
画用紙(大阪ガス株式会社)	1 団体画用紙セット 7 冊	203

〇ありがとうメッセージを 21 施設・事業所・団体からいただきました。(一部紹介)

#### <高齢者関係>6 施設

・この度は、温かいお心遣いを頂きまして誠にありがとうございます。心から謝意を述べさせて頂きます。各地大変な中ではございますが、当施設におきましても対策を行いながら安心してご利用頂けるよう努力して参ります。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

・介護施設での新型コロナのクラスターや職員の感染のニュースを目にする度に自分達は感染対策が徹底できているのか緊張と不安でいっぱいになります。そんな時にまごころ便を届けて頂き、心暖まる気持ちになります。ありがとうございました。

・あたたかいご支援ありがとうございます。緊張の解けない日々が続きますがみなさん、共にごがんばりましょう。

#### <児童関係>8 団体

・ありがとうございます。頂いた物は、子どもたちと一緒に大切に使用させていただきます。

#### <障害者関係>7 施設

・最近、コロナでお互い大変ではありますが、お互いコロナの生活を助け合ってごがんばりましょう。

・厳しい暑さに未知のウイルス、今年の夏はいろいろ大変ですが元気に乗り越えていきましょう。

・入浴剤は、利用者の入浴時に使用させていただきます。アルコール類は感染症防止に使用させていただきます。ありがとうございました。



#### 4) 第四弾 学区社協活動応援「まごころ便」

9月23日

1.目的:学区社協活動が、新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点から活動が困難な状況になっております。しかし、この時期に三密等を避け、地域福祉活動を展開されます学区社協の活動者皆さまの前向きな気持ちの後押しができればと考え、地域福祉活動の安心と安全を応援する学区社協応援「まごころ便」を贈ります。配布品については、賛同していただいた企業や市民から市社協へいただいた寄付物品です。

2.対象 学区・区社会福祉協議会

3.まごころ便の内容と配分数

配布物	配布基準	配布数
草津市社協会長メッセージ	1学区1通	14
市社協作成「熱中症×新しい生活様式チラシ」		
寄付備品	配布基準	配布数
飲料(コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社)	1学区12本	168
次亜塩素酸液(有限会社管財技研)	1学区5本	70
アルコール除菌シート(株式会社阪急オアシス)	1学区5個(1個50枚入)	70
大人用マスク(市役所・市民寄付)	1学区50枚入り2箱	1,400

#### ★コロナ禍の中でも工夫して活動する学区社協活動一覧

##### 志津社会福祉協議会

- 学区「まごころ便」を記念品を持って一人暮らし訪問を実施
- コロナ感染症を題材に事業所の人たちから思いを聞く「医療福祉を考える会議」を開催



##### 草津学区社会福祉協議会

- 3回に分けて老人クラブサロンを実施
- 三か所に分かれ地域福祉協力員、民児委員交流会を開催

##### 老上学区社会福祉協議会

- 命のボタンで医療福祉を考える会議を継続開催
- 老上幼稚園と工夫した餅つき大会を実施

##### 山田学区社会福祉協議会

- これでコロナに負けませんふれあいの場づくり事業で活動支援
- コロナ禍でも、ふれあいサロン・キラキラキッチンやまだっ子を実施

##### 渋川学区社会福祉協議会

- コロナ禍で進める広報紙の発行
- ウイズコロナ時代の町内会福祉活動助成

##### 笠縫学区社会福祉協議会

- 2回に分けてグラウンドゴルフ体験交流を実施
- 笠縫「おでかけ」ふれあい模擬訓練体験縮小実施

##### 老上西学区社会福祉協議会

- ボランティアグループ「ママの手」約30人の立ち上げ
- 感染防止策を考え高齢者・子育てサロン、子ども食堂開始

##### 常盤学区社会福祉協議会

- コロナ禍だから「みんなで笑おう会」を開催
- コロナ禍でもひとり暮らし高齢者給食事業を実施

##### 南笠東学区社会福祉協議会

- コロナ禍だから進める健幸なまち南笠東プロジェクト
- 地域支え合い運送支援事業

##### 矢倉学区社会福祉協議会

- 人数を減らし「ふれあいサロン」を展開
- コロナ対策をしながら「にこにこレストラン」開催

##### 笠縫東学区社会福祉協議会

- ほのぼののサークル(地域サロン)事業応援
- コロナ禍でも餅つき大会を工夫して実施

##### 志津南学区社会福祉協議会

- 「医療福祉を考える会議」立ち上げ、ソーシャルディスタンスを考えます
- コロナ対策をしながら認知症に関する勉強会を各団体と連携して進めます。

##### 大路区社会福祉協議会

- 賛助会員へメッセージをお渡し
- 新型コロナウイルス感染症に関するチラシを作成

##### 玉川学区社会福祉協議会

- コロナ対策で「ふれあいサロン」
- コロナ禍の現場実態を聞く「医療福祉を考える会議」の実施



## 5) 第五弾 コロナに負けない「炊き込みご飯でまごころ便」

1.目的:草津市赤十字奉仕団と草津市社会福祉協議会がコラボして、新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点から活動が困難な状況にある高齢者地域サロンを応援します。三密等避け、地域サロン活動の活動者皆さまの前向きな気持ちの応援と参加される高齢者が笑顔になっていただきたいという気持ちで「炊き込みご飯」をつくり、地域福祉活動の安心と安全を応援します。

2.対象 市内高齢者地域サロン **155 サロン**

### 3.まごころ便の内容と配分数

配布物	配布サロン	配布数
草津市赤十字奉仕団と草津市社協会長応援メッセージ	炊き込みご飯のパッケージ	971
炊き込みご飯<配布日> 10月12日	18 サロン	345
10月22日	16 サロン	314
10月30日	12 サロン	312
計	46 サロン	971



**「コロナに負けない炊き込みご飯」  
まごころ便**

地域サロンにご参加いただいている皆様の「笑顔」で食べている姿を目に浮かべ、心を込めて「炊き込みご飯」をつくりました。少しでも美味しい食事をとって「笑顔」でコロナ時代を乗り越えましょう。

草津市赤十字奉仕団

コロナ禍の中で、活動をされている地域サロン活動者の皆様、一緒に頑張ってください。市社協では、「社会的つながり」ボランティア活動、地域福祉活動等が絶えないようこれからも活動していきます。

(福) 草津市社会福祉協議会

主催 草津市赤十字奉仕団  
協力 草津市社会福祉協議会

★コロナに負けない食材の効能(3つを取り上げました)

- ちりめんじゃこ  
カルシウムの含有量は、牛乳に含まれるカルシウムの約3倍近くもあります。ちりめんじゃこに含有するビタミンDは、カルシウムの吸収をサポートしてくれるだけではなく、**免疫機能を高めたり、代謝を高めてくれる効果**があります。
- 干しいたけ  
ビタミンDを含むことや、β-グルカンほか食物繊維類・特徴成分とされるエリタデニンなどを含むことから**免疫力アップ**や健康増進にも役立つ食材としても注目されています。
- にんじん  
β-カロテンが多く含まれ、抗酸化作用を持つカロテノイドであると同時に、必要に応じて体内でビタミンAに変換されます。ビタミンAは皮膚・喉・気管支・肺など正常に保つ働きがあり、不足すると細菌やウイルスの侵入を許しやすい状態を作ってしまう可能性があります。

### 【ありがとうの声】

1ヶ月後再開しましたが、サロン本来の運営の要、茶話会でのお茶やお菓子の提供、食事会が出来ていません。来月から再開したいと思いますが、コロナ第3波のことを考えると心配です。12日の「炊き込みご飯」は皆さんにとっても喜んでいただけました。日赤の方々に感謝です。心おきなくサロン活動ができる日が一日も早く来ることを切に願います。今日は、良かったです。ありがとうございました。

## 6) 第六弾 福祉関係施設等 53 施設団体応援「まごころ便」

令和3年1月15日

### 1.目的

新型コロナウイルスの感染症第三波のなかでも草津市の福祉の増進のために頑張っておられる福祉関係施設等の方々を応援するため、「第六弾 まごころ便」について賛同していただいた企業からの寄付物品等で実施します。

また、アイコラボレーションからいただいたハガキを利用して「ありがとう」から「ありがとう」をむすぶメッセージを直接寄付いただいた企業へ送付していただきます。

### 2.対象 グループホーム、障害者施設、特養、児童育成クラブ

### 3.まごころ便の内容と配分数

入浴剤(錠剤 1,000 個、粉末 60 個)  
折紙(大 131 枚、小 71 枚)、画用紙 120 枚、雑巾 50 枚  
ハガキ:各団体1枚

配分先	団体数
グループホーム・障害者施設	13
特別養護老人ホーム	11
児童育成クラブ	29
合計	53

### ●グループホーム、障害者施設、特養

配布物	配布内訳	配布数
入浴剤(1箱:20個入 50箱)	フードバンク滋賀	110箱
入浴剤(粉末:60個)	特養 40箱、障害者施設 50箱、 グループホーム 20箱	

### ●児童育成クラブ

配布物	配布数
折紙(大 131 枚、小 71 枚)	105 セット
画用紙 120 枚	120 冊
雑巾 50 枚	50 枚

★ハガキ(NPO アイ・コラボレーション):各団体1枚…お礼のハガキを寄付企業へ送ろう



## 7) 第七弾 ひとり親世帯で15歳以下の子どもが3人以上いる世帯 9世帯 44人 応援「まごころ便」

1.目的 新型コロナウイルスの感染症第四波が懸念される中、草津市内のひとり親世帯で15歳以下の子どもが3人以上いる世帯にランチボックス45個(チキンと野菜カレー、サフランライス)を賛同していただいた一般社団法人全国日本司厨士協会滋賀県本部からいただきました。

2.対象 ひとり親世帯で15歳以下の子どもが3人以上いる世帯  
(令和2年度歳末たすけあい見舞金対象者)9世帯 44人

3.まごころ便の内容と配分数 チキンと野菜カレー、  
サフランライス 45食分

配分先	世帯数
ひとり親世帯で15歳以下の子どもが3人以上いる世帯	6世帯 (31人)
合計	31人

★令和3年度も、実施予定



### 1) 「自分のためにみんなのためにそして大切な人のために私たち一人ひとりができること新聞」 発行

新型コロナウイルスの感染拡大防止で、外出やイベント会合の自粛、それに伴う休業・廃業等、市社協が大切にしてきた人の「つながり」が、否応無しに切り離されていく毎日の中で、福祉・医療関係等は奮闘し、時には心が折れてしまいそうにもなりながらも頑張っているところであります。

また市内では、地域サロンをはじめ多くの地域の福祉活動や学区社協会長会・市社協事業の一部等が新型コロナウイルス感染症の拡大予防の観点から開催中止せざるを得なくなり、支え合い、助け合い、生きがいづくりの地域福祉活動が停止することとなっております。このような状況下ではありますが、私たち市社協は、地域福祉活動の一日も早い再開を願いつつ、更なる地域の福祉活動を進めるべく、学区社協・学区民児協等へ、5月から応援新聞を発行しました。

#### ●新聞の内容

##### ① 5月20日号 特集「今、できることがある」

###### 草津市社協の最新取り組み紹介 4 事業

特例緊急小口資金/総合支援資金、フードバンクの新たな力、第一弾高齢者を応援まごころ便、医療福祉を考える会議専門職アンケート実施



##### ② 6月22日号 特集「地域は、今も輝いている」

###### 学区社協の最新取り組み紹介 3 学区、草津市社協の最新取り組み紹介 3 事業

志津社協「地域サロンへまごひろ便活動」、南笠東学区社協「支え合い運送支援事業」、草津学区社協「ゆかい家で配食事業開始」、学区社協へ新しい生活様式の地域福祉活動提案、特例緊急小口資金/総合支援資金、第一弾高齢者を応援まごころ便の状況報告

##### ③ 7月20日号 特集「夢見ることができるなら あなたはそれを現実にできる」

###### 学区社協の最新取り組み紹介 3 学区、草津市社協の最新取り組み紹介 2 事業

山田学区社協「山田の絆推進事業」、玉川学区社協「ふれあいの場応援事業」、南笠東学区「支え合い送迎支援事業」、第二弾地域福祉活動まごころ便・第三弾福祉関係施設応援まごころ便、特例緊急小口資金/総合支援資金

##### ④ 8月18日号 特集「ありがとう から ありがとう」

###### 賛助会員・寄付していただいた企業・心温かいコメント全てにありがとう

第二・三弾「まごころ便」の実施、第一弾「まごころ便」での高齢者のお手紙特集、賛助会員応援事業、第74回赤い羽根共同募金の歴史を知る

##### ⑤ 9月23日号 特集「コロナと共生・地域共生社会の実現」

「目の前に困っている人を一人でも多く」「一緒に活動している人・頑張っている人を誹謗中傷しない社会をつくりたい」私たちの思い

「企業」「市社協」「活動」「市民」をつなぐ「幸せ」の連鎖、コロナ禍の中でも工夫して実施している学区社協活動のすべて、「まごころ便」のお礼

## 2) この時期だからできる新しい地域福祉活動 15 例提案

6月22日

新型コロナウイルスの感染症拡大が、少し落ち着きつつあるものの、まだまだクラスターや第二波といった感染症が拡大している市町があり、三密を避け、不特定多数の集まりの自粛等を継続した中で、今だから地域福祉のいろいろな活動を考えてみました。あなたにとって本当に大事なことって何でしょう。自分たちにとって本当に大切な人って誰なんでしょうか。この二つを本気で思っているだけで地域福祉活動(対話と交流から生まれる)として価値があると考え、その対話になる 15 の活動を提案させていただきました。こんな状況だから「新しい地域福祉活動」を考えるチャンスにさせていただきたく考えています。市社協も全力で協力させていただきます。6月22日学区社協会長会に提出しました。

### ①言葉にできないなら文字で伝えよう事業～方法はいろいろあるさ～

三密、新しい生活様式等いろいろ地域福祉活動に不利な状況の中で言葉の活動から文字の活動へ

4事業提案

### ②マスクに愛をこめて事業

現在、マスクも販売されてきましたが、それでも手に入っていない住民の方々がおられます。

また、予備を持っている人も少なく、この時期だから購入(手作り含む)・配布をし、秋・冬を乗り越えていただきたくこの事業を提案いたします。

4事業提案

### ③食をテーマに安心を届けよう事業

生活を進める基礎となる「衣食住」の「食」をテーマにつなぐりの大切さを提案します。

3事業提案

### ④今だから居場所が大切、つながりの新提案事業

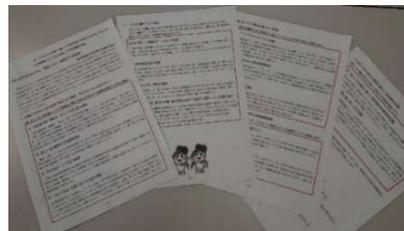
出会うつながり合えることが出来なくなってきたことを踏まえこんな居場所づくりを提案します。

2事業提案

### ⑤心をこめた新しい感覚で新しい地域福祉活動

新型コロナ感染症拡大で新しい地域での活動を提案します。

2事業提案



## 3) 草津市の企業(賛助会員 480社)応援事業

7月からスタート

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大による休業等で、多くの企業や個人事業主が影響を受けており、会費の協力を得ることが難しくなると考えられます。会費の協力を募ることはもちろんですが、日々大変な思いをされている会員の皆さまに励ましの意味をこめ、『賛助会員を応援しよう!』をテーマに、応援メッセージを送付するとともに、『一緒に頑張っていきましょう』のメッセージが入った賛助会員応援オリジナルステッカーを配布することで、草津市の社会福祉貢献企業を盛り上げたいと考えます。また、学区社会福祉協議会や市社会福祉協議会の啓発等を踏まえ、地域と企業のつながりの強化を図ります。6月22日学区社協会長会でデザインを選択しました。

○内容・応援メッセージは、草津市社会福祉協議会会長名で作成する。

・応援ステッカーは、市社協と14学区・区社協の名前が入ったものを作成し、各学区社協役員が会費納入のお願いに伺った際にお渡りする。

また、応援ステッカーは、特定非営利活動法人アイ・コラボレーション(市内障害者就労施設に依頼し、障害者支援をする。)へ作成依頼をする。

◎応援ステッカー1,000枚作成



コロナ禍で影響を受ける中、草津市内の事業所・企業から、「苦しい中でも社協活動を応援しよう」と多くの賛助会費の協力をいただきました。

### 専門職90人アンケート実施

新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、生活支援体制整備事業「医療福祉を考える会議」（第2層協議体）が、各学区で中止となり、これから協議体の実施も困難となりつつあります。このような時期だからこそ、少しでも明るい未来のための第一歩だと信じて、地域福祉活動再開の準備のために「医療福祉を考える会議」の中心的役割の専門職の意識共有アンケートを実施しました。平成24年度から準備をはじめ、平成29年度から委託を受け実施してきたこの歴史の新たな展開を目指します。

- 対象者:各地域包括支援センター学区担当、市地域保健課学区担当、市社協生活支援コーディネーター
- アンケート項目:11項目(アンケート集計は、学区別・専門職別にまとめました)

## 5.その他の応援

### 1) 地域サロン交流会～マスクケース作り～10/30 読売新聞掲載

10月14日

1.目的:毎年実施していた「地域サロン交流会」を今年度は、交流をせず「クリアファイルでマスクケース」をつくる交流会を企画しました。これからも続く「マスク着用社会」の中で、「マスクを持ち運ぶケース」「食事などをする際に保管するケース」などの作り方を学び、地域サロンの活動メニューとして活用していただき、高齢者の新しい生活習慣となりえる交流会として(限定50人地域サロン2人まで)実施しました。

演題 「クリアファイルでマスク入れを作ろう」～サロンで作るマスクケースの作り方～

講師 草津市福祉教養大学大学院 ボランティアグループ ふくちゃん 7人

2.参加者:29サロン 49人(男性70歳代3人、女性80歳代6人、70歳代29人、60歳代10人、40歳代1人)

#### 参加者の声(一部掲載)

- サロンでマスクを作りました。マスクケース入れの講習はグッドタイミングで、良い講習でした。講師の方も上手にゆっくり進めてくださり、ありがとうございました。
- コロナのため、いきいき百歳体操から始めたが、地域サロンも再開した。やはり、長時間ではないが皆でいろいろな活動をすることで、和やかな時間が過ごせ楽しむ様子が見られた。サロンで、今日のマスクケースを作りたいと思います。
- サロンは、3月からずっと中止し、7月に開催、8月、9月も中止、10月から平常通りの活動を予定しています。今日のサロン交流会は、とてもわかりやすい説明とアシスタントの方々もいてくださり、資料もあって楽しく3種類完成することが出来ました。是非、サロンでも皆さんに作ってもらいたいと思いました。ありがとうございました。

### 3.その後にマスクケース

ボランティア派遣依頼件数 4件



## 2) Withコロナで豊かな暮らしを提案



## 「ふくちゃんマスクプロジェクト」始動



このプロジェクトは、マスクを作ることでボランティア活動の活性・活躍の場を広げ、新たなボランティア活動団体等の立ち上げアイテムにも活用したいと考えています。そのマスクを広げることにより、新型コロナウイルス感染症対策として、市民の方々に対しマスク着用の啓発(意識づけ)を行うとともに、マスク社会が継続される中でも「ふくちゃんマスク」を付けることにより、「楽しさ」と「豊かな暮らし」を感じていただきたいと思っています。

そして、コロナ禍で失われた「つながり・であい・ふれあい」を草津市社協のキャラクターをマスクで啓発することで、地域福祉活動の啓発ができ、「ふくちゃんマスク」をつけている人たち同士の「マスクでつながる新しい関係性」「ふくちゃんマスクの着用による新しい出会い」を構築したいと考えています。コロナ禍で失われたものをマスクで取り返す事業でもあります。

また、地域サロンでは、コロナ禍の初めての冬が訪れることにより中止をせざるを得ない時に、在宅で楽しみ、少しでも手を動かさせ認知症予防になる「在宅でマスクづくり活動」を地域サロンに広め、それを指導できる草津市ボランティアセンターとしても「ボランティア 10,000 人」を目指しています。「マスクづくりでボランティア」を合言葉に下記の団体以外にも募集し、ボランティア活動者の拡大もこの事業で実施します。草津市民全員(みんな)が、できる限り警戒心を失わず感染拡大防止に取り組み一緒にコロナ時代を越えていきましょう。

## 1. マスク数

ふくちゃん絵柄の日本手ぬぐい約 300 枚  
(手ぬぐい 1 枚でマスク 5 枚)計 1,000 枚

## 2. マスク作成依頼団体

○草津市赤十字奉仕団	300枚
○草津市教養大学大学院ボランティアグループ「ふくちゃん」	300枚
○志津学区ボランティアグループ「ほほえみ会」	300枚
○草津学区社協拠点立ち寄りカフェ「ゆかい家」 ボランティア	100枚

※ボランティアグループ「ふくちゃん」が教えに行きます。

## 3. 配布先

○啓発のため一部無償配布します。予定 50 枚

草津市赤十字奉仕団	20 枚
草津市教養大学大学院ボランティアグループ「ふくちゃん」	10 枚
志津学区ボランティアグループ「ほほえみ会」	10 枚
草津学区社協拠点立ち寄りカフェ「ゆかい家」 ボランティア	10 枚

○市社協事務所にて販売します。(マスクケースも作成・販売)

マスクケース 500 枚は、市教養大学大学院ボランティアグループ「ふくちゃん」に依頼。



## 3) 草津市福祉教養大学大学院

## ソーシャルディスタンス「あなたのための音楽祭」

## ～第9回ボランティアフェスティバル～

新型コロナウイルスの感染症拡大が、少し落ち着きつつあるものの、まだまだクラスターや第二波といった感染症が拡大している市町があり、三密を避け、不特定多数の集まりの自粛等を継続した中で今だからできる活動を考えてみました。私たちにとって本当に大事なことって何でしょう。私たちにとって本当に大切な人って誰なんですか。そんな人たちに「笑顔を届けたい」をテーマに実践課題を草津市福祉教養大学院生 9 人(当日ボランティア 1 人…第一回大学院生)実行しました。

1. 目的①市民は、新型コロナウイルス感染症拡大によりコンサート等の自粛制限が進められている現状下、不安や孤独・孤立を感じている中、少しでも笑顔になれる機会・外出する機会をつくる。  
②新型コロナウイルス感染症拡大において音楽ボランティア団体の発表の場がなくなり、活躍の場を提供することにより、ボランティアの活性を図る。

2. 内容・参加者：1部 誰でも口ずさめるあの懐かしの曲などを披露します♪ 26 人  
2部 ファミリーで楽しめる曲などを披露します♪ 12 人

3. 会場・出演者：会場:草津アマカホール(定員 350 人)

<当日出演ボランティアグループ>

メンバーが多く、コロナ禍で演奏の機会がなくなったボランティアグループ

○午前 1 部

よし笛同好会

ウクレレフレンドリー

LaLaLa 友&音吹

○午後 2 部

ヘルマンハーブアンサンブル「リンデンバウム」

ラブ・フレンドリー

狼我和音



## &lt;来場者の声一部掲載&gt;

- 友達が出演するため応募しました。草津市福祉教養大学についても気になり、パンフレットも見てみたいです。
- 口ずさみながら歌うことができ楽しかった。マスクを外せるような日が早く来てほしい。
- コロナの中でも音楽に触れあえてよかった。感動しました。
- 広報を見て音楽祭があることを知り友人を誘って参加した。コロナの影響で席の間隔を空けているから安心。開催されることを楽しみにしていた。



## これからいろいろな活動を考える

### ○三密を避けるなら、一か所に集められない。

会場分散、小グループ指定方式での開催、講座、サロン、フェスの開催機会が増える。オンライン講座の開催(新たな活動者の開拓)、何でもトーク(課題を挙げ、意見募集をする)等

### ○外出自粛、巣ごもり、高齢者介護度進行、体力低下

脳トレ集の定期配布、詐欺防止チラシ配布、自宅で体操、配食と見守り、子ども家庭内虐待、孤食、配食と見守り

### ○音楽ボラは活動場所がない

オンライン、YouTube、FM くさつ出演等

### ○自宅訪問も難しい

近況報告。手紙・電話などによる声掛け、オンラインサロン、脳トレ集の定期配布、独居高齢等への配食(予約制)、自宅でボランティア。(マスク、雑巾、前掛けなどの裁縫ボランティア)

### ○経済活動

社協くさつ活用(賛助会員支援:知ってますかお得な情報の掲載)

### ○医療福祉を考える会議

今だから、危機感をもって、なんとかしなければ、身近にできる、見守り、助け合いをもう一度確認共有、実行する。見守り、介護予防、認知症予防、…そのための支えあい・たすけあい移動困難、ご近所送迎、共同買い出し、移動商店等

### ○コロナ禍で支援の必要な人へ

経済的支援、食糧支援、見舞金等寄付や募金の誘発活動

## あ と が き

新型コロナウイルス感染症に感染した患者の増加にともない、医療機関が感染した患者の診察に当たる機会が増えています。同時に、院内感染やクラスターといった疑いのあるケースも全国各地で報告され、医療関係者だけでなく福祉関係者も心配しながらも感染症防止に努めています。

また、感染患者を診たというだけで、医師や看護師など医療従事者がいわれなき誹謗中傷を受ける事例も各地で報告されていますが、それは専門職だけでなく、地域活動においても、もし感染者拡大すれば誹謗中傷を言われる可能性があります。しかし、私たちは、「目の前にいる困っている人を一人でも多く救いたい」という思いで、地域福祉活動を展開しています。コロナ時代に「一生懸命頑張って活動している人たちを誹謗中傷しない社会をつくりたい」「頑張って活動している人たちの心を折らない社会をつくりたい」と草津市社会福祉協議会は、いろいろな支援や援助をしながら住民と共にコロナ時代を乗り越えていきたいと思っています。新生活様式を取り入れながら、私たちが今できることを精一杯進めていきますので、ご理解・ご協力・ご支援をお願い申し上げます。